平成２６年８月５日

ともに未来へ
笑顔あふれる
わがまち府中

府中市子ども市議会会議録

（市せいし行６０周年記念）

府中市子ども市議会

平成26年府中市子ども市議会会議録目次

○８月５日（午前の部）

出席子ども市議会議員 …… 1

欠　席　議　員 …… 1

議会側出席者 …… 2

来　　ひ　　ん …… 2

議事日てい（午前の部） …… 3

開会の言葉（比留間利蔵副議長） …… 4

あいさつ（高野政男議長） …… 4

自こしょうかい …… 5

開　会　・　開　議 …… 8

会期の決定について …… 8

一　ぱ　ん　質　問

堀　　圭　太　市議会議員（府中市のごみのしょりや取り組み） …… 9

後　藤　　晴　市議会議員（街灯のせっちについて） …… 10

牧　野　愛　未　市議会議員（公園のルールと設備について） …… 11

小　川　裕　喜　市議会議員（小学校の学区について） …… 12

原　田　　玲　市議会議員（府中市の自然（多摩川の自然）をアピールするイベントについて） …… 13

小　谷　圭　祐　市議会議員（子どものいりょうひについて） …… 15

千本松　千　尋　市議会議員（ごみのことについて） …… 16

榮　留　仙　礼　市議会議員（北山第二公園のボール使用きんしについて） …… 17

高　橋　　慧　市議会議員（府中市の商店街について） …… 18

瓜　生　光　珠　市議会議員（府中市の教育環境） …… 20

會　田　夏　美　市議会議員（安全な街にするために） …… 21

大　田　恵里奈　市議会議員（府中市の子どもの遊び場について） …… 22

寺　本　晋之輔　市議会議員（府中市の環境について） …… 23

和　田　吉　平　市議会議員（緑をこれからも残し続けることについて） …… 25

千　石　泰　士　市議会議員（榊原記念病院近くの信号について） …… 26

岡　野　　蒼　市議会議員（府中市の施設について） …… 27

二　田　珠　侑　市議会議員（住みよいまちにするために） …… 28

渡　辺　航　希　市議会議員（町のごみについて） …… 30

渡　部　　和　市議会議員（少子高齢化について） …… 31

落　合　桃　菓　市議会議員（若者とおとしよりの笑顔あふれる町） …… 32

本　橋　敬　悟　市議会議員（自然豊かな府中のまち）　……　33
林　　碧　海　市議会議員（府中市の各図書館・各学校の図書室の本の貸し借りについて）　……　34
子ども議員てい出議案　府中市がみんなで創る、笑顔あふれる、住みよいまちとなることを目指す決議　……　36
市長こうひょう　……　37
あいさつ（奈良﨑久和議会選出かんさ委員）　……　38
へい議・へい会　……　39

○８月５日（午後の部）

出席子ども市議会議員 …… 43
欠　席　議　員 …… 43
議会側出席者 …… 44
来　　ひ　　ん …… 44
議事日てい（午後の部） …… 45
開会の言葉（比留間利蔵副議長） …… 46
あいさつ（高野政男議長） …… 46
自こしょうかい …… 47
開　会　・　開　議 …… 50
会期の決定について …… 50
一　ぱ　ん　質　問
西　本　　葵　市議会議員（公園について） …… 50
小　幅　脩太郎　市議会議員（安心してすごせる町を作るために） …… 51
渋　谷　佳　奈　市議会議員（笑顔あふれる町づくりのために） …… 53
黒　部　英　司　市議会議員（府中市の道路整備について） …… 54
島　田　勝　成　市議会議員（府中市防災対策について） …… 55
桑　名　　優　市議会議員（図書館の今後について） …… 56
安　齋　穂乃佳　市議会議員（夏休みなど、宿題を教えてくれるしせつがほしい） …… 57
林　　香　那　市議会議員（府中市をきれいな町にすることについての質問） …… 58
高　柳　悠　意　市議会議員（府中市の安全について） …… 60
小　泉　百萌子　市議会議員（ごみの分別について） …… 60
塚　田　京　佳　市議会議員（府中市の公園について） …… 61
西　森　爽　悟　市議会議員（みんながくらしやすい町づくり） …… 63
西　江　　類　市議会議員（府中市の緑化管理について） …… 64
石　田　智　治　市議会議員（夜の安全について） …… 65
池　田　伊　織　市議会議員（府中市の祭りについて） …… 66
田　中　海　希　市議会議員（みんなが楽しく遊べる場所について） …… 67
森　　悠衣花　市議会議員（府中市の災害への対策について） …… 69
廣　瀬　愛　奈　市議会議員（府中市民の笑顔についての一般質問） …… 70
市　川　穂　積　市議会議員（畑や田んぼが無くなってきて家が増えてき

ている）…… 71
大　宅　優　志　市議会議員（府中市のよりよいまち創りについて）…… 72
中　島　愛　海　市議会議員（府中市のイベントについて）…… 73
浅　岡　ひいろ　市議会議員（府中市の自然と子どもたちのかんきょうについて）…… 74
子ども議員てい出議案　府中市がみんなで創る、笑顔あふれる、住みよいまちとなることを目指す決議…… 75
市長こうひょう…… 76
あいさつ（奈良﨑久和議会選出かんさ委員）…… 77
へい議・へい会…… 78

平成２６年８月５日（火曜日）

府中市子ども市議会会議録（午前の部）

（市せいし行６０周年記念）

府中市子ども市議会

平成26年府中市子ども市議会会議録（午前の部）

８月５日（火曜日）

出席子ども市議会議員（22名）

1　番	後　藤　　晴	市議会議員	（府中第一小学校）
2　番	牧　野　愛　未	市議会議員	（府中第一小学校）
3　番	小　川　裕　喜	市議会議員	（府中第三小学校）
4　番	原　田　　玲	市議会議員	（府中第三小学校）
5　番	小　谷　圭　祐	市議会議員	（府中第五小学校）
6　番	千本松　千　尋	市議会議員	（府中第五小学校）
7　番	榮　留　仙　礼	市議会議員	（府中第七小学校）
8　番	高　橋　　慧	市議会議員	（府中第七小学校）
9　番	瓜　生　光　珠	市議会議員	（府中第九小学校）
10　番	會　田　夏　美	市議会議員	（府中第九小学校）
11　番	大　田　恵里奈	市議会議員	（武蔵台小学校）
12　番	寺　本　晋之輔	市議会議員	（武蔵台小学校）
13　番	和　田　吉　平	市議会議員	（新町小学校）
14　番	林　　碧　海	市議会議員	（新町小学校）
15　番	千　石　泰　士	市議会議員	（白糸台小学校）
16　番	岡　野　　蒼	市議会議員	（白糸台小学校）
17　番	堀　　圭　太	市議会議員	（若松小学校）
18　番	二　田　珠　侑	市議会議員	（若松小学校）
19　番	渡　辺　航　希	市議会議員	（南白糸台小学校）
20　番	渡　部　　和	市議会議員	（南白糸台小学校）
21　番	落　合　桃　菓	市議会議員	（南町小学校）
22　番	本　橋　敬　悟	市議会議員	（南町小学校）

欠席議員　な　し

議会側出席者

高野政男	議長
比留間利蔵	副議長
奈良﨑久和	議会選出かんさ委員
村木茂	議会運営委員会委員長
前田弘子	議員
須山卓知	議員
山上稔	議員
石川明男	議員
西村陸	議員
市川一徳	議員
目黒重夫	議員
遠田宗雄	議員
手塚歳久	議員
備邦彦	議員
松村寿志	議員
小野寺淳	議員

来ひん

高野律雄	市長
吉野誠	副市長
浅沼昭夫	教育長

議　事　日　て　い（午　前　の　部）

第１　会期の決定について

第２　一ぱん質問

第３　子ども議員てい出議案　府中市がみんなで創る、笑顔あふれる、住みよいまちとなることを目指す決議

○村木　茂議会運営委員長　お待たせいたしました。ただいまから子ども市議会議員のみなさんが入場してまいります。みな様、ご起立の上、はく手をもっておむかえいただきたいと思います。

〔子ども議員入場〕

○村木　茂議会運営委員長　ご着席ください。

わたくしは、本日の進行役をつとめます市議会議員議会運営委員会委員長の村木　茂でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、初めに開会の言葉を比留間利蔵副議長からお願いいたします。

〔比留間利蔵副議長登だん〕

○比留間利蔵副議長　みなさん、こんにちは。ただいまごしょうかいいただきました府中市議会副議長の比留間利蔵でございます。ことしは府中市が生まれてからちょうど60周年の記念すべき年になります。このことを記念いたしまして、本日は市内の小学生のみなさんにお集まりいただき、子ども市議会を開さいする運びとなりました。子ども市議会のみなさんは、暑い中お集まりいただきましてまことにありがとうございます。また、ご来ひんのみな様は、何かとおいそがしい中、ごりん席いただきまして、まことにありがとうございます。

それでは、ただいまから府中市せいし行60周年記念事業、子ども市議会を開会いたします。よろしくお願いいたします。（はく手）

○村木　茂議会運営委員長　ありがとうございました。

次に、高野政男議長よりごあいさつ申し上げます。

〔高野政男議長登だん〕

○高野政男議長　みなさん、こんにちは。ただいまごしょうかいをいただきました、議長をつとめさせていただいております高野政男と申します。きょうは、本当に、みなさん、暑い中ありがとうございます。市議会を代表いたしまして一言ごあいさつをさせていただきます。

本日は、各小学校の代表でございます子ども市議会議員のみなさんにご参加をいただきまして、市せいし行60周年、60さいになりました。その記念行事として子ども市議会を開さいすることができました。本当にみなさんに感しゃを申し上げます。

子ども市議会のみなさんにおかれましては、ちょうど、今、夏休みでございますけれども、各学校の代表としてそれぞれが選ばれてここに来ていただいております。本当にありがとうございます。

本日おこしのご家族の方、そして教育関係の方、本当にありがとうございます。人選ですとか、いろいろな形でここまで持ってくるのは大変だったと思いますけれども、みなさんの協力がありまして、このように立ぱな子ども市議会が開かれること、感しゃでございます。

先ほど副議長からもありましたけれども、府中市がたん生して60年になりました。60年になるというと、みなさんのおじいさん、おばあさん、お母さん、お父さんはそこまでいっていないですから、なかなか60年というのがどのくらいかなというのがわからないでしょうけれども、まだまだ、60年前といいますと、府中市も人口が５万人ほどでございまして、今、25万人をこえてい

るんですけれども、畑ですとか、田んぼですとか、そしてまだ道路はほそうがされていないところがいっぱいありまして、今は立ぱに車道と歩道が区別されていますが、そういう道路もまだまだめずらしく、車が通るとほこりがいっぱい立つような、そういうところでございました。わたくし事でございますが、ちょうど60年前といいますと、高校に入りたてでございまして、年代的にはそのようなことでございました。でも、みなさん方のお父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんが府中を愛して、府中を一生けん命いいまちに育てていこうという気持ちが、今の府中市があるんじゃないかなと思っております。

みなさんには７月30日に開さいされました、みんなで創るまち特別委員会、笑顔あふれるまち特別委員会、住みよいまち特別委員会という三つの特別委員会をつくっていただきまして、府中市の未来に対するゆめですとか、ほう負を議ろんしていただきましたね。それをきょう発表していただく時間もございますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

そして、わたしたちが何よりうれしいのは、みなさんが、お一人お一人が自分の言葉で一ぱん質問を考えていただいたことだと思います。それぞれクラスで相談したり、学年で相談したりして、わたしはこういう質問をしていきたいな、とってもみなさんにも身近な、公園のことですとか、安全のことですとか、田んぼがなくなっていくとか、そういう未来に関するかんきょうの問題についても一ぱん質問していただくようになっております。一ぱん質問するみなさんもきんちょうしておりますが、きょうは議員がみなさんの質問に答える、そういうことになっておりますので、どんどん元気よく質問を議員のみなさんにぶつけていただければと思います。議員のみなさんもきんちょうしながら、みなさんの熱意にしっかりとこたえると思っておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

結びに当たりまして、この子ども市議会を通じて、多くのみなさんが府中市を知っていただいて、せい治はこんなものなのか、議会はこんなものなのかというのを少しでも関心を持っていただきますと大変ありがたいことでございますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

かけがえのないふるさと府中の発てんのため活やくをされますことをお願いをいたしまして、わたくしのあいさつにさせていただきます。本日は本当に、みなさん、思い出になる一日にしてください。よろしくお願いをいたします。ありがとうございます。（はく手）

○村木　茂議会運営委員長　ありがとうございました。

次に、子ども市議会議員のみなさんに自こしょうかいをお願いしたいと思います。

議席番号１番の後藤　晴議員から、議席番号順にお願いいたします。それでは、１番、後藤晴議員、お願いします。

○１番（後藤　晴市議会議員）　府中第一小学校、１番、後藤　晴です。よろしくお願いします。（はく手）

○２番（牧野愛未市議会議員）　府中第一小学校、２番、牧野愛未です。よろしくお願いします。（はく手）

○３番（小川裕喜市議会議員）　府中第三小学校、３番、小川裕喜です。よろしくお願いします。

（はく手）

○４番（原田　玲市議会議員）　府中第三小学校、４番、原田　玲です。よろしくお願いします。（はく手）

○５番（小谷圭祐市議会議員）　府中第五小学校、５番、小谷圭祐です。よろしくお願いします。（はく手）

○６番（千本松千尋市議会議員）　府中第五小学校、６番、千本松千尋です。よろしくお願いします。（はく手）

○７番（榮留仙礼市議会議員）　府中第七小学校、７番、榮留仙礼です。よろしくお願いします。（はく手）

○８番（高橋　慧市議会議員）　府中第七小学校、８番、高橋　慧です。よろしくお願いします。（はく手）

○９番（瓜生光珠市議会議員）　府中第九小学校、９番、瓜生光珠です。よろしくお願いします。（はく手）

○10番（會田夏美市議会議員）　府中第九小学校、10番、會田夏美です。よろしくお願いします。（はく手）

○11番（大田恵里奈市議会議員）　武蔵台小学校、11番、大田恵里奈です。よろしくお願いします。（はく手）

○12番（寺本晋之輔市議会議員）　武蔵台小学校、12番、寺本晋之輔です。よろしくお願いします。（はく手）

○13番（和田吉平市議会議員）　新町小学校、13番、和田吉平です。よろしくお願いします。（はく手）

○14番（林　碧海市議会議員）　新町小学校、14番、林　碧海です。よろしくお願いします。（はく手）

○15番（千石泰士市議会議員）　白糸台小学校、15番、千石泰士です。よろしくお願いします。（はく手）

○16番（岡野　蒼市議会議員）　白糸台小学校、16番、岡野　蒼です。よろしくお願いします。（はく手）

○17番（堀　圭太市議会議員）　若松小学校、17番、堀　圭太です。よろしくお願いします。（はく手）

○18番（二田珠侑市議会議員）　若松小学校、18番の二田珠侑です。よろしくお願いします。（はく手）

○19番（渡辺航希市議会議員）　南白糸台小学校、19番の渡辺航希です。よろしくお願いします。（はく手）

○20番（渡部　和市議会議員）　南白糸台小学校、20番の渡部　和です。よろしくお願いします。（はく手）

○21番（落合桃菓市議会議員）　南町小学校、21番の落合桃菓です。よろしくお願いします。（はく手）

○22番（本橋敬悟市議会議員）　南町小学校、22番の本橋敬悟です。よろしくお願いします。（はく手）

○村木　茂議会運営委員長　子ども市議会議員のみな様、ご苦労さまでした。

それでは、次に、本日出席されております府中市の市議会議員から自こしょうかいをお願いいたします。

初めに、前田議員からお願いいたします。

○前田弘子議員　市議会議員の前田弘子です。よろしくお願いいたします。（はく手）

○須山卓知議員　市議会議員の須山卓知です。よろしくお願いいたします。（はく手）

○山上　稔議員　市議会議員の山上　稔です。よろしくお願いいたします。（はく手）

○石川明男議員　市議会議員の石川明男でございます。どうぞよろしくお願いいたします。（はく手）

○西村　陸議員　市議会議員の西村　陸でございます。よろしくお願いします。（はく手）

○市川一徳議員　市議会議員の市川一徳でございます。よろしくお願いします。（はく手）

○奈良﨑久和議会選出かんさ委員　府中市かんさ委員の奈良﨑久和です。よろしくお願いいたします。（はく手）

○目黒重夫議員　市議会議員の目黒重夫です。どうぞよろしくお願いします。（はく手）

○遠田宗雄議員　市議会議員の遠田宗雄でございます。どうぞよろしくお願いいたします。（はく手）

○手塚歳久議員　市議会議員の手塚歳久でございます。よろしくお願いいたします。（はく手）

○備　邦彦議員　市議会議員の備です。よろしくお願いします。（はく手）

○松村寿志議員　市議会議員の松村です。よろしくお願いいたします。（はく手）

○小野寺　淳議員　市議会議員の小野寺　淳でございます。どうぞよろしくお願いいたします。（はく手）

○村木　茂議会運営委員長　ただいまは午前の部の市議会議員のみな様の自こしょうかいでございました。

次に、本日出席いただいております来ひんのみな様をごしょうかいいたします。

高野律雄市長。

○高野律雄市長　おはようございます。よろしくお願いします。（はく手）

○村木　茂議会運営委員長　吉野　誠副市長。

○吉野　誠副市長　おはようございます。よろしくお願いします。（はく手）

○村木　茂議会運営委員長　浅沼昭夫教育長。

○浅沼昭夫教育長　おはようございます。がんばってください。（はく手）

○村木　茂議会運営委員長　なお、高野市長におかれましては、最後にこうひょうをいただいてご

あいさつをたまわりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、本日の進行でございますが、議席に配付してあります議事日ていにより進めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、あらかじめ正副議長が選出されておりますので、ごほう告いたします。議長には14番林　碧海さん、副議長には17番堀　圭太さん。

以上でございます。

それでは、林議長、議長席にお着き願います。

〔林議長着席〕

○村木　茂議会運営委員長　ご起立願います。

〔全員起立〕

○村木　茂議会運営委員長　一同、礼。

ご着席願います。

◇

午前10時19分　開会・開議

○議長（林　碧海市議会議員）　ただいまから、府中市子ども市議会を開会します。

ただいまの出席議員は22名です。定足数に達していますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の子ども市議会の記録およびほう道のための写真さつえいおよびビデオさつえいの希望があり、これをきょかしましたので、ごりょうしょう願います。

◇

○議長（林　碧海市議会議員）　それでは、日ていに入ります。

◇

１．会期の決定について

○議長（林　碧海市議会議員）　日てい第１会期の決定についてを議題とします。

おはかりします。会期は本日１日としたいと思いますが、ごい議ありませんか。

〔「い議なし」とよぶ者あり〕

○議長（林　碧海市議会議員）　ごい議なしとみとめ、会期は本日１日と決定しました。

◇

２．一ぱん質問

○議長（林　碧海市議会議員）　次に、日てい第２一ぱん質問に入ります。

各議員から通告のあった質問事こうについては、お手元に配付しました一ぱん質問通告表のとおりです。この順番に質問をきょかします。

初めに、堀市議会議員の質問をきょかします。17番、堀　圭太市議会議員。

〔17番堀　圭太市議会議員登だん〕

○17番（堀　圭太市議会議員）　府中市のごみのしょ理や取り組み。

ぼくは、四年生の時、社会科見学で府中市のクリーンセンターとリサイクルプラザに行きました。クリーンセンターでは、焼きゃくろでもやされたごみははいになり、そのはいはうめ立てしょ分場に運ばれ、うめられることがわかりました。また、うめ立てしょ分場のことをインターネットでくわしく調べてみると、あと数年でうめ立てしょ分場がごみでいっぱいになってしまうことがわかりました。一つ目の質問です。府中市では、うめ立てしょ分場がいっぱいにならないように取り組みやよびかけはどんなことを行っているのですか。

また、ぼくの家の近くに坂道があります。そこの坂道にはごみがすててありました。不法投きい反というかん板がありました。二つ目の質問です。府中市では不法投きをふせぐためにはどんなことを行っているのですか。また、府中市では年間に不法にすてられたごみはどのぐらいの量ですか。

数年前にぼくの家を出てすぐのところにダストボックスがありました。しかしそのダストボックスがはい止されました。三つ目の質問です。なぜ、ダストボックスをはい止したのですか。

またダストボックスをはい止した後からごみぶくろが色のついたごみぶくろになりました。四つ目の質問です。なぜ色のつくごみぶくろにしたのですか。そして色のつくごみぶくろにしてよかったことはありますか。

最後に府中市のごみの課題は、ありますか。あるのなら、ぜひ答えてください。

○議長（林　碧海市議会議員）　目黒重夫議員。

○目黒重夫議員　堀　圭太市議会議員にお答えいたします。

４点の質問がありました。

１点目、うめ立てしょ分場を長く使用できるように、府中市ではできるだけごみの量をへらすことや、しげんにするようにしています。例えば、もやすごみは焼きゃくした後のはいをスラグというガラスじょうのりゅうしにしたり、セメントの材料にしてさい利用しております。その結果、げんざい、うめ立てしょ分はしておりません。これからもしょ分場を長く利用するために、広ほうやホームページなどで、みんなでごみをへらしましょうとよびかけをしたり、しょ分場の見学会などを行っていきたいと思っております。

２点目、不法投き対さくですが、市のしょく員によるパトロールや不法投きの多い場所にはか

ん板をつけたりしています。不法投きをした人が特定できた場合には、直せつ指どうしたり、引き取らせることもしております。本当に悪しつな場合にはけい察と一しょに対おうすることもあります。不法投きの量ですが、平成25年度は93けん、413点でした。

３点目、ダストボックスは、市民がいつでもすてられる便利さはありましたが、しげんになるものや、ほかの市からもすてられることが多く、ごみをへらすためにはい止をしました。

４点目、ごみぶくろの色についてですが、もやすごみは緑、もやさないごみはオレンジにしたのは、それまでのダストボックスの色に合わせたものです。ごみぶくろに色をつけると、ごみを分ける市民も、ごみを集める人もわかりやすいことがよい点です。

これからのごみ問題の課題ですが、この４年間、ごみの量は横ばいです。もっとごみをへらす意しきを高め、ごみになるものを買わないなどのリデュース、できるだけ何回も使える商品を選ぶリユースに重点を置いて、市民と市役所が一しょになって、ごみそのものを少なくすることが必要と考えております。

以上でございます。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんが終わりました。

○17番（堀　圭太市議会議員）　ありがとうございました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　以上で、堀市議会議員の質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　次に、後藤市議会議員の質問をきょかします。１番、後藤　晴市議会議員。

〔１番後藤　晴市議会議員登だん〕

○１番（後藤　晴市議会議員）　街灯のせっ置について。

府中市には街灯がたくさんあります。

しかし、街灯のないところでは、とても暗く、きけんです。

ぼくの住んでいる地いきはひかく的明るいですが、まだ暗いところもあります。街灯があるのに電球が切れているということもあります。

そこで、府中市を住みよくするためについてお聞きします。府中市の街灯のせっ置、交かんなどについてはどうお考えですか。より住みよく、ぼくたちが安全にくらせるためにも、ぜひご回答をお願いします。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんをお願いします。石川明男議員。

○石川明男議員　それでは、後藤　晴市議会議員からの、街灯のせっ置についての質問にお答えをいたします。

街灯は市民のみな様が安全に安心して夜の道を通行するために大変重要なしせつと考えております。街灯のせっ置については、暗いところをなくし、道路を明るくすることで交通事こやはんざいなどをぼう止することを目的に、周りのじょうきょうや道路の形たい、せっ置間かくなどの

きじゅんにもとづき、市民のみな様のご要望に配りょし、せっ置しております。

また、街灯のせっ置に当たっては、明るくなることによって、周辺に住まわれる方などの生活かんきょうへのえいきょうがあることや、畑などの農作物への成長のえいきょうがあることなども配りょしなければならないわけでございまして、必要な明るさをかくほした上で、地いきのみな様の理かいのもと、せっ置していく必要があると考えております。

次に、街灯の交かんなどについての考えですけれども、明かりが消えている街灯に対しては、しょく員のパトロールのほか、市民のみな様からのご連らくをいただき、電球が切れているものや、器具がこわれているものなど、消えている原いんを明らかにして交かんやしゅう理などをじん速に対おうしています。このような取り組みに、みな様が安全に安心してくらせるまちづくりをつくっていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんが終わりました。

○１番（後藤　晴市議会議員）　ありがとうございました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　以上で、後藤市議会議員の質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　次に、牧野市議会議員の質問をきょかします。２番、牧野愛未市議会議員。

〔２番牧野愛未市議会議員登だん〕

○２番（牧野愛未市議会議員）　公園のルールとせつびについて。

府中市の公園のかんきょうについての一ぱん質問を行います。

わたしは、よく友達と公園で遊びます。そのときにサッカーや、一輪車で遊べない公園がありました。また、よく自転車を使って公園まで遊びに行くのですが、自転車で入ってはいけない公園がありました。とても残念だったので、できれば公園のルールを少し見直してほしいなと思います。

次に、公園のせつびについてです。以前、友達と遊んでいて、遊具が少ないな、とかつまらないな、と思うことがありました。また、つくえといすをせっ置してほしいです。すると、友達と一しょに宿題ができるし、地いきの人に見守ってもらうこともできます。そして、走り回れる大きな公園もほしいです。

そこで、府中市の公園のかんきょうについてお聞きします。わたしたちのような子どもたちが楽しくかいてきにすごせるような公園について、どうお考えですか。ぜひ、ご回答をお願いします。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんをお願いします。石川明男議員。

○石川明男議員　それでは、牧野愛未市議会議員からの、公園のルールとせっ置についてお答えをいたします。

公園は、小さい子どもからお年よりまで多くのみなさんにご利用いただいておりますが、公園のルールというのは、公園の利用に当たってのマナーを決めているもので、それぞれの公園の利用じょうきょうなどにより、ボール遊びや自転車利用についてのルールを決めております。

公園は、運動場のように、大きなしき地ではございませんが、公園を利用するみな様がマナーを守っていただければ、今後、自転車利用などのルールについてもゆるやかにすることもできると考えられます。

次に、公園につくえやいすをせっ置してほしいとのことですが、市では、市民のみな様が身近に行くことができる公園を目指しており、利用の目的に合わせてよう児公園、児童公園、広場や緑地をつくっております。

このようなことから、公園の大きさやお年よりなどのゲートボールや、また地いきのお祭りでの利用じょうきょうなど、それぞれの地いきの特せいに合わせて遊具をせっ置したり、また、広場としての空間をかくほするなどの対おうをしているところであります。

一方、大きな公園としては、地いきのきょ点として、府中公園、都立府中の森公園、小柳公園、郷土の森公園、武蔵台公園や四谷さくら公園など、大きな広場で自由に遊べる公園があります。

最後に、子どもたちが楽しくかいてきにすごせる公園についての考えですが、公園を利用する全てのみなさんが公園周辺に住たく地があり、いろいろな方が住んでいらっしゃることや、小さなお子様からお年よりまでが、さまざまな方々が利用されていることをご理かいいただいた上でご利用いただくことで、みなさんが楽しくかいてきにすごせる公園になるのではないかと考えております。

以上でございます。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんが終わりました。

○２番（牧野愛未市議会議員）　ありがとうございました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　以上で、牧野市議会議員の質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　次に、小川市議会議員の質問をきょかします。３番、小川裕喜市議会議員。

〔３番小川裕喜市議会議員登だん〕

○３番（小川裕喜市議会議員）　小学校の学区について。

府中市の小学校の学区について一ぱん質問を行います。

ぼくは、みんなで創るまち特別委員会ということで、一番身近な、自分が住んでいる分梅町のことを考えてみました。分梅町には、子どもが参加できる神社のお祭りや地いきの行事がたくさんあります。ぼくも、毎年いろいろな行事に参加して楽しんでいますが、少し残念なことがあります。それは、分梅町に住んでいる小学生は、三小・五小・南町小と三つの小学校に分かれていることです。ちがう学校に通っている子は、ふだんから話したり遊んだりすることがないので、

同じ町内に住んでいるのに、町内の行事で会ってもおたがいのことをよく知らないのです。文化センターの子ども行事でも、三小は片町文化センター、五小は西府文化センター、南町小は住吉文化センター、同じ町内なのにみんなばらばらです。

二つの小学校に分かれているくらいならよいのですが、三つに分かれてしまうと町内の子どもたちのまとまりがなくなってしまうと思います。近くに住んでいる子ども同士がおたがいの名前や学年も知らないのに、これからよいまちづくりができるかとても心配です。

一つの町内で一つの学校という地いきもありますが、小学校の学区はどのように決められているのか教えてください。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんをお願いします。市川一徳議員。

○市川一徳議員　それでは、小川裕喜市議会議員の質問であります、小学校の学区はどのように決められているかについてお答えいたします。

小学校の学区は、学校の大きさや教室の数、その地区に住んでいる児童の数、学校までのきょりなど、さまざまなじょうきょうをけんとうして決定しております。平成24年度には学区いきに関する市民のみなさんのご意見を反えいしながらけんとうし、学区いきの見直しを行ったところであります。

なお、学区いきの見直しに当たりましては、できるかぎり同じ町名の児童が同じ学校に通えるよう、学区いきをけんとうした上で決定していますが、児童のみなさんが安全で安心して学校に通えるために、同じ町内や丁目に住んでいてもちがう学校に通う場合もありますので、そういったげんじょうであります。

以上であります。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんが終わりました。

○３番（小川裕喜市議会議員）　ありがとうございました。小学校の学区のことがよくわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　以上で、小川市議会議員の質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　次に、原田市議会議員の質問をきょかします。４番、原田　玲市議会議員。

〔４番原田　玲市議会議員登だん〕

○４番（原田　玲市議会議員）　府中市の自然をアピールするイベントについて。

わたしは、笑顔あふれるまちにするために府中市の自然、特に多摩川の自然をアピールする、みんなが笑顔になれるようなイベントをふやすことをてい案します。

府中市のイベントをインターネットで調べてみると、たくさんのお祭りやイベントがありました。しかし、府中市の自然を生かしたイベントが少ないことに気づきました。府中市は緑も多く、多摩川もあるのに自然をアピールするイベントの数は少ないように思うのです。例えば、多摩川

でのイベントは多摩川清そう市民運動ぐらいでした。

府中市にはくらやみ祭などの歴史のあるイベントがたくさんありますが、多摩川などの府中市の自然をアピールするイベントが少ないので、そのようなイベントを開くのがよいと思います。

また、最近では、多摩川の水がきれいになっています。あゆももどってきて、きれいな多摩川になっています。多摩川清そう市民運動できれいにした多摩川をもっとアピールできたらいいと思います。多摩川でイベントがあれば清そうに参加してくれる人もふえるかもしれません。そうすれば、多摩川はもっときれいになります。きれいな多摩川でのイベントならもっとたくさんの人が集まってくれると思います。よいこう果がくり返して、それが、みんなの笑顔につながると思います。

例えば、魚つり、魚すくい大会。ていぼうを利用した草スキー大会。水切り石投げ大会などはどうでしょうか。

わたしは、府中市を笑顔あふれるまちにするために多摩川がどんどんきれいになっていることや、あゆがもどってきていることなど、多摩川の自然をアピールするイベントをてい案します。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんをお願いします。市川一徳議員。

○市川一徳議員　それでは、原田　玲市議会議員の質問であります、府中市の自然、特に多摩川の自然をアピールするイベントについてお答えいたします。

多摩川は、水と緑にふれ合うことのできる市の代表する自然かんきょうであり、みなさんが住んでいる身近でとてもき重な水辺空間です。そのため、多摩川清そう市民運動だけではなく、水辺における自然とのふれ合いなどにより、かんきょうを学ぶ場としても活用しています。

多摩川の自然をアピールするイベントといたしまして、子どもたちが多摩川のゆたかな自然に親しみながら、川のきけんと安全を学ぶ機会となる、府中水辺の楽校や、ツバメの集団ねぐら市民観察会など、市民だん体と協力しながら多数のイベントを実ししているほか、郷土の森博物館では、多摩川に生息する生き物のてんじや、多摩川ふれあい教室を年間通して行っています。府中水辺の楽校は、多摩川の自然のゆたかさを伝えるぜっ好の機会であり、ガサガサ魚とり、野鳥観察、夏休みにはカヌーやＥボートに乗れるサマースクールなどを開さいしていますが、昨年７月20日には、むさし府中青年会議所の主さいによる土手スライダーも同日実ししております。そのほか、多摩川河川じきでは、市民がスポーツやレクリエーションを楽しめるよう、公園や運動しせつを整びするとともに、バーベキュー場をせっ置し、多くの方でにぎわっています。

このように、多摩川はたくさんのみ力がある場所でありますので、今後もこのみ力をより多くの方に知っていただき、自然を楽しみ大切にしていただけるよう、これからのイベントの開さいについてのお知らせの仕方についてもけんとうしてまいります。

以上です。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんが終わりました。

○４番（原田　玲市議会議員）　ありがとうございました。

以上でわたしの一ぱん質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　以上で、原田市議会議員の質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　次に、小谷市議会議員の質問をきょかします。５番、小谷圭祐市議会議員。

〔５番小谷圭祐市議会議員登だん〕

○５番（小谷圭祐市議会議員）　子どもの医りょう費について。

府中市の子どもの医りょう費について、一ぱん質問を行います。

ぼくは今、耳鼻科や皮ふ科などいくつかの病院に通っています。小学生になる前には日野市に住んでいて、その時は医りょう費が無料でした。そして、府中市に引っこしてきて、小学生になっても病院が無料でしたが、日野市は小学生が無料ではないと聞きました。そこで近くの市の医りょう費をインターネットで調べてみたところ、23区外はどこでも大体６さいまでが無料でした。23区外でも医りょう費が中学３年まで無料なのは、府中市、武蔵野市、日の出町の３カ所だけでした。

そこで、府中市の子どもの医りょう費についてお聞きします。なぜ府中市は中学３年まで無料にできるのですか。ぼくはもうすぐ弟が生まれるので、今後もこのせい度を続けてほしいと思いますが、どのようにお考えですか。ぜひご回答をお願いします。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんをお願いします。小野寺　淳議員。

○小野寺　淳議員　それでは、小谷圭祐市議会議員の質問にわたくしのほうからお答えをさせていただきます。

質問は２点にまたがっているかと思いますが、その前に少し子ども医りょう助成について、げんじょうをご説明させていただきます。

子ども医りょう費助成については、東京都全体のせい度として始まりまして、お父さん、お母さんなど、ほご者の所得によって助成にせいげんがありました。小学生になる前の子どもさんについては、入院、通院に関係なく、医りょう費は無料となっています。また、小学一年生から中学三年生までの児童・生徒については、入院の場合の医りょう費は無料ですが、通院の場合には薬局、薬屋さんをのぞいて、病院では一回200円の自こ負たんをしていただくせい度となっています。しかし、ご質問にありましたけれども、府中市では、げんざい、中学三年生まで全ての医りょう費を無料といたしております。

そこで、質問の、なぜ府中市では中学三年生まで医りょう費を無料にできるのかということですが、府中市では、最初は所得せいげんも、自こ負たんもありました。しかし、子どもたちのほ健の向上や健全な子どもたちに育てる必要があるというはんだんから、ほご者の負たんの軽げんと、健康で健全な子どもたちに育ってほしいということを目的に、他のしさくにひかくをしてゆう先的に高めて、まずは小学生になる前の子どもたちの医りょう費を、そして自こ負たんがく全がくを、平成16年に無料といたしました。したがって、小谷議員の質問に言う、府中市にうつってきたときには無料というのが、平成16年、10年前に無料にしたということでございます。

その後もいろいろとけんとうしてまいりまして、都内23区と同じように、平成21年より中学三年生までの医りょう費を無料といたしております。

府中市では、子どもたちが健やかに生まれ育つためのかんきょうづくりが社会全体で取り組む重要なことと考えておりますので、ご質問にありました、これからもできるかぎり続けていきたいということを考えておりますので、ご答べんとさせていただきます。

よろしくお願いします。

以上でございます。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんが終わりました。

○５番（小谷圭祐市議会議員）　ありがとうございました。

これで一ぱん質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　以上で、小谷市議会議員の質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　次に、千本松市議会議員の質問をきょかします。６番、千本松千尋市議会議員。

〔６番千本松千尋市議会議員登だん〕

○６番（千本松千尋市議会議員）　ごみのことについて。

わたしは、府中市のごみのことについて質問をします。

ごみ出し表を見ていたときに、もえるごみ、もえないごみ、よう器包そうプラスチックはなぜ有料なのかなと思いました。もえるごみ、もえないごみはリサイクルできないので有料かなと思ったけれど、よう器包そうプラスチックは、リサイクルができます。

わたしは、社会科見学でリサイクルを待つものがたくさんあったので、それが問題なのかなと思いました。

なぜ、よう器包そうプラスチックは、有料なのですか。ぜひご回答お願いします。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんをお願いします。松村寿志議員。

○松村寿志議員　それでは、千本松千尋議員のご質問の、よう器包そうプラスチックはなぜ有料なのかにつきましてお答えします。

初めに、府中市がごみの有料化を始めたのが平成22年２月２日からでございました。ちょうどこの１年前に、平成21年第１回定例会でげきろんを交わした中、有料化を決定したわけです。その中で、府中市住民投票条例とかいうのがございまして、その結果、かひ同数だったんです。それを第24号議案をひ決するに当たって、議長がそこでひ決をさせていただきました。そのときの議長がわたしでございます。

初めに、22年２月に３種類のごみについて市が指定する有料ぶくろによるしゅう集、変こういたしました。しゅう集方法も、これまで使用したダストボックスをはい止し、ごみのしゅう集業者が、自たく前に置いたごみぶくろを一けんずつ回しゅうし、しゅう集する方法に変えたわけでございます。

おたずねの、よう器プラスチックを有料化した理由についてですが、一つ目は、よう器包そうプラスチックをリサイクルするには多くのけい費がかかることで、有料ぶくろをしゅう集し、リサイクルプラザに運ぱんするけい費や、しゅう集したものを選別し、しげん化するしせつに運びやすいようにあっしゅくしてふくろづめにするなどのリサイクルプラザの運えい費でございます。

理由の二つ目は、さらなるごみげん量を進めるためには、しげんもふくめたごみそのものを出さないという意しきを市民に持っていただくことが大事であり、そのためには、もやすごみ、もやさないごみだけでなく、しげんであるよう器包そうプラスチックも有料化することが必要であるとはんだんしたためです。

なお、よう器包そうプラスチックぶくろの料金についてでございますが、よう器包そうプラスチックはしげん化、つまりリサイクルされること、さらには、ほかの有料指定ぶくろにくらべて安くなることで、ごみとして出さないようによう器包そうプラスチックのマークであるプラマークを必ずかくにんするなど、市民の分別が進むことが期待されていることから、もやすごみ、もやさないごみの料金の半がくをせっ定したものでございます。

以上でございます。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんが終わりました。

○６番（千本松千尋市議会議員）　ありがとうございました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　以上で、千本松市議会議員の質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　次に、榮留市議会議員の質問をきょかします。７番、榮留仙礼市議会議員。

〔７番榮留仙礼市議会議員登だん〕

○７番（榮留仙礼市議会議員）　北山第二公園のボール使用きん止について。

ぼくの家の近くに第二公園という公園があって、よくお父さんとサッカーやキャッチボールをして遊んでいます。だけど、五年生になっていつもと同じように第二公園へ行ったら新しいかん板ができていて、読んだらボール遊びがきん止になった、と書いてありました。家から結こうはなれた国立の公園まで行かないといけなくなってしまい、いつもは30分遊べたのに、20分くらいしか遊べなくなってしまってがっかりしました。

それに、友達と四年生のときまで第二公園でボール遊びなどをたくさんして遊びましたが、ボール遊びができなくなってする遊びがへって、友達と遊ぶ日が少なくなってしまいました。ぼくは、友達と遊ぶ機会がへってとても悲しく思っています。

たしかに、第二公園はあまり広い公園ではないので、ボール遊びをして、小さい子に当たったらあぶないし、きけんなのできん止になったかもしれません。だけど、ボール遊びができる時間や、曜日などを決めれば、小さい子どもが安心して遊べると思います。

ぼくは、ボーム遊びをすると、体力もつくし、気持ちがすっきりするので、第二公園でこれか

らもボール遊びをしたいと思っています。

そこで、北山第二公園のボール遊び使用きん止について、お聞きします。ボールの使用きん止について、府中市はどのようにお考えですか。ボール遊びが好きな子どもたちのためにもご回答をお願いします。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんをお願いします。手塚歳久議員。

○手塚歳久議員　榮留仙礼市議会議員のご質問にお答えします。

北山町第二公園のボール使用きん止についての府中市の考えにつきましてお答えします。

公園は、小さな子どもから高れい者まで、多くのみな様にご利用いただいておりますが、公園のルールというのは、利用に当たってのマナーを決めているもので、それぞれの公園の利用じょうきょうなどによって決めています。

北山町第二公園については、日ごろより、地いきの方々にご利用いただいておりますが、昨年から公園の利用に当たって、夜間のボール遊びやかん板のはそんなどがひんぱんに行われるようになりまして、近りんの方々にごめいわくとなるじょうきょうになりました。

そこで、近りんの方々のご要望などをそん重し、公園のボール利用をひかえるようルールを追加したかん板をせっ置したところ、かん板のはそんやとうなんなどがくり返されたことから、府中けい察と相談し、けい察による北山町第二公園のパトロールを強化するとともに、やむを得ずボール遊びなどをきん止するかん板をせっ置したものです。

このようなことから、今すぐにボール遊びなどのきん止をなくすことはむずかしいのですが、今後、地いきの方々などとご相談をし、ごてい案のように、例えば時間を区切ってボール遊びをみとめるなどの地いき公園のルールをつくることもけんとうしていきたいと考えています。

わたくしも、夜間などのルールい反の公園利用がなくなり、以前のようにボール遊びをふくめ、小さなお子様から高れい者の方々までみんなで楽しく利用できる公園になることを願っています。

以上でございます。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんが終わりました。

○７番（榮留仙礼市議会議員）　ありがとうございました。時間を区切ることを考えているのを知って安心しました。

以上でぼくの一ぱん質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　以上で、榮留市議会議員の質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　次に、高橋市議会議員の質問をきょかします。８番、高橋　慧市議会議員。

〔８番高橋　慧市議会議員登だん〕

○８番（高橋　慧市議会議員）　府中市の商店街について。

府中市の商店街について一ぱん質問を行います。わたしは、府中市の北西の北山町に住んでい

ます。北山町は、以前北山商店街があり、肉や野菜などの生活必じゅ品が買えたそうです。けれどもわたしが生まれて、物心がついたころには、ほとんどのお店は、しまっていました。今は、もう二つしかお店がありません。これでは、もう商店街と言えないと思っています。

その理由を挙げるとおそらく、高れい者問題が関係していると思います。けいえい者が年をとり、仕事ができなくなったり、あと取りがいなくなったりしたからだと思います。そして、もう一つ挙げるならば、近くに大型スーパーができたからだと思います。これは、わかい人たちがスーパーに行ってしまい利えきがへってしまいへい店せざるを得なかったのではないかとわたしは考えました。でも商店街がなくなると、そのときわかかった人たちが、老いていき、近くのスーパーでも行くのがつらくなると思うので、わたしは、商店街にふっ活してほしいです。

そこでわたしは、地いきを活せい化させるイベントをしてはどうかと考えました。近くの市では、毎週金曜日に、その商店街のヒーローが広告を配りその商店街を活せい化させていると聞きました。商店街を回り、借り物競走をすることもあるそうです。

そこで、府中市の商店街の未来について、お聞きします。北山町などの少子高れい化が進んでいる地いきの商店街の活せい化を府中市は、どのようにお考えでしょうか。また、何か対さくをけんとうしているのであればぜひ教えてください。府中市のより明るい未来のためにも、ぜひご回答をお願いします。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんをお願いします。手塚歳久議員。

○手塚歳久議員　高橋　慧市議会議員のご質問にお答えします。

商店街の活せい化に対する府中市の考えと、それに対する対さくにつきましてお答えをいたします。

商店街は、地いきのくらしをささえていただくとともに、コミュニティやぼうはん、ぼうさいなどのさまざまな分野で地いきのまちづくりの中心として府中市は期待しています。そのため、商店街が元気ににぎわいが生まれるよう計画をつくり、ことしの４月からその計画が進むよう、市内の商業と工業の発てんのために取り組んでいるむさし府中商工会議所と一しょになってしえんをしています。

高橋　慧市議会議員のお近くの北山商店会は、鉄道の駅からひかく的はなれている住たく街の商店街ですから、日じょう的な買い物利用が想定されますので、日々の生活にみっ着した商品をそろえてご商売をする地いきだと思います。

しかしながら、近くの広い道ぞいには大きなスーパーマーケットや大型電気店、レストランなどが進出しており、一方、商店街では、ご指てきのように、店主の方が年をとられ、商売を続けることがこんなんとなり、お店をしめられているじょうきょうだと思います。

そこで、商店街は、人々をつなげるコミュニティの役わりや、ぼうはんや、ぼうさいなどの分野で、まちの中心として期待をしていますので、新たにお店を開く人へのしえんをじゅう実するなどして、商店街の活せい化につながるよう、努めてまいります。

以上でございます。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんが終わりました。

○８番（高橋　慧市議会議員）　ありがとうございました。対さくしているということを聞いて安心しました。

以上でわたしの一ぱん質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　以上で、高橋市議会議員の質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　次に、瓜生市議会議員の質問をきょかします。９番、瓜生光珠市議会議員。

〔９番瓜生光珠市議会議員登だん〕

○９番（瓜生光珠市議会議員）　府中市の教育かんきょう。

ぼくの学年は今、２クラスです。あと２人入れば３クラスになります。あと２人だけならば、３クラスにしてもいいのではないかと思います。その２人が足りないだけで教室はつくえでいっぱいです。そして給食のときは配り終わるのにとても時間がかかります。この前は配る時間がかかり、好きな食べものなど、おかわりができませんでした。じゅ業も人数が多いと、うるさくなるので３クラスにしたらいいと思います。

そこで、府中市の教育かんきょうについてお聞きします。１クラスの人数はどういうきじゅんで決めているのですか。もう少し少人数にはできないのでしょうか。ぜひご回答をお願いします。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんをお願いします。須山卓知議員。

○須山卓知議員　瓜生光珠市議会議員の、府中市の教育かんきょうについてのご質問にお答えいたします。

まず、１クラスの人数のきじゅんですが、東京都の学級へんせいきじゅんで、小学校一年生は入学したばかりで学校生活になれないということなどを重ししまして、１クラス35人、二年生は一年生が進級した場合にクラスがえをせずにけい続をして学校生活にてきおうできるよう、同様に35人となっております。また、それ以上の三年生から六年生は１クラス40人となっております。

次に、少人数にできないかについてですが、東京都のきじゅんにより、少ない人数でクラスをつくった場合、ふえたクラス数におうじて教しょく員の人数もふえることや、また、使用できる教室の数が不足をするなどして、校しゃのぞうちくが必要となることなどから、全ての学年を少人数のクラスにするのはこんなんなじょうきょうではございます。

少人数教育、学級に関しては、一人一人の児童にきめ細やかな指どうができ、じゅ業への参加意よくや学力の向上などのねらいがございますけれども、瓜生議員ご指てきのように、給食のおかわりがしやすくなるなどといった学校生活のせい神的、物理的なゆたかさにもつながるということがよくわかりましたので、ご意見をしっかりとふまえまして、今後、市としても調さ、研究を進めてまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんが終わりました。

○９番（瓜生光珠市議会議員）　ありがとうございました。

これでぼくの一ぱん質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　以上で、瓜生市議会議員の質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　次に、會田市議会議員の質問をきょかします。10番、會田夏美市議会議員。

〔10番會田夏美市議会議員登だん〕

○10番（會田夏美市議会議員）　安全なまちにするために。

府中市の子どものかんきょうについての一ぱん質問を行います。

わたしは一年生から三年生まで九小学童クラブに通っていました。学童から家までは府中けいむ所の横の道を長いきょり歩いていました。一年生のとき東日本大しんさいが起きました。東日本大しんさいで福島第一原発の事こが起き、節電、省エネのために府中けいむ所のへいの街灯が半分消されていました。それは今でも続いています。夏はいいのですが、冬は暗くて先がよく見えません。わたしはもっと明るくしてほしいなと思っていました。

ことしの５月に通学路に不しん者が出て、わたしはとても不安な思いをしました。でもＰＴＡの人や先生方、けい察官やけいむ官のみなさんが通学路に立ってくださいました。わたしは少しほっとしました。

府中市が安心して登下校できるまちになってほしいなと思いました。

そこで、府中市の子どもたちが安心して登下校できるまちにするために、どのようにしたらよいか教えてください。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんをお願いします。須山卓知議員。

○須山卓知議員　會田夏美市議会議員の、安全なまちにするためにのご質問にお答えいたします。

まず、通学路の安全対さくとしては、学校ごとに、学校、ほご者、府中けい察しょなどの協力により、通学路の合同点けんを行っております。その点けん結果により、例えば暗かったり、見通しが悪いなどで対さくが必要な場所に関しては、対さく案を作成し、関係機関に要望を行っております。また、ステッカーをはっているおたくをみなさんもよく見かけると思いますけれども、子どもたちがいざというときに、いつでもにげこめる、府中市子ども緊急避難の家などの対さくや、子どもたちの帰たく時に地いきのみなさんと見守る放課後子ども見守りボランティアを行うなど、学校、ほご者、府中けい察しょなどとさまざまな連携、協力をして、子どもたちが安心をして通学できるように努めております。

ご指てきのありました府中けいむ所周辺の通路は、わたくしも子どものころから晴見町に住んでおりまして、とてもよくわかりますけれども、おそい時間になると、暗く長い一本道になりますね。會田議員が生まれる少し前に府中けいむ所がまちをきれいにすることを考え、今のへいより外側にあった古いへいを利用して、ベンチと街灯、通路を近りんのみなさんと話し合いながら

整びをしました。府中けいむ所のみなさんも、子どもたちのみなさんが安心をしてけいむ所の周辺を通ってもらうことを気にかけており、夜間、けいむ所の周りをじゅん回しております。

街灯に関しましては、みなさんにごめいわくをおかけしておりますが、しんさい後のじょうきょうをふまえ、間引き点灯を行っております。今後、街灯の改しゅうなどのタイミングで、同じ電力でもより明るく照らすことができるＬＥＤに変えていくなどの対さくもありますので、安全なまちにするためにも、會田議員のご意見について考えてもらえるように、市から府中けいむ所にお伝えをしてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんが終わりました。

○10番（會田夏美市議会議員）　対さくをしているんだと知って安心しました。

これでわたしの一ぱん質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　以上で、會田市議会議員の質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　次に、大田市議会議員の質問をきょかします。11番、大田恵里奈市議会議員。

〔11番大田恵里奈市議会議員登だん〕

○11番（大田恵里奈市議会議員）　府中市の子どもの遊び場について。

府中市の子どもの遊び場について、一ぱん質問を行います。

わたしは、妹の自転車の練習に付きそって、近くの公園で遊んでいます。昔は、サッカーをしたり、すべり台をゴールがわりにして、バスケットボールをやっていました。

あるとき、公園でサッカーをしていたとき、近くの家の人にしかられました。しばらくすると、サッカー、野球、ゴルフはきん止と、かん板に書かれていました。

ほかの公園にも、そのかん板がありました。わたしたちの年になると、サッカーや野球で遊びたくなります。それから、近くの公園で、楽しいサッカーができなくなったので、残念です。思い切りけったり投げたりできるようにしたいです。

今後、小学生が思い切り遊べる、子どものかんきょうをどう思いますか。このことに、ぜひご回答をお願いします。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんをお願いします。山上　稔議員。

○山上　稔議員　大田恵里奈市議会議員のご質問にお答えします。

まず、公園に、サッカー、野球、ゴルフきん止と書かれたかん板が立てられたとのことですが、府中市ではき本的に公園でのボール投げをきん止していません。しかし、府中市の公園のほとんどが住たくの近くにあり、大きくないため、夜間に高校生などが大きな声を出してボール遊びをすることもあり、ご近所の方にめいわくなのでやむを得ずボール遊びきん止のかん板を立てることがあるようです。

府中市には、げんざい、身近に遊べる公園が350カ所あり、公園には公園利用のマナーが書か

れたかん板があります。公園を利用する人同士、マナーを守り、おたがいめいわくにならないように利用することが大切です。また、公園でボール遊びをする場合には、近くにいるお年よりや小さな子どもにも注意が必要ですが、武蔵台公園のように広く周辺にも住たくがない公園では、思い切り自由にボール遊びができるようになっています。

最後に、小学生が思い切り遊べる子どものかんきょうをどう思いますかについてお答えします。大田議員のおっしゃるとおり、ボール遊びもだめ、あれもだめ、これもだめな公園があります。しかし、子どもの成長にとって、小さなころから自然とふれ合い、自由に遊び、さまざまな体験をすることはとても重要なことです。そのためにも、子どもたちがもっと自由に遊べる公園をつくるなど、かんきょうを整える必要があると考えています。

これまで、府中市ではたくさんの公園をつくることを目的にしていましたが、これからはもっと多くの方が親しめる公園、自由に遊べる公園、自然に親しめる公園など、公園のあり方を考えるようです。自由に思い切り遊ぶことは、立ぱな大人に成長するために欠かせないことだと考えていますので、そのようなかんきょうを整えることを、わたしからも府中市にお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（林　碧海市議会議員）　答べんが終わりました。

○11番（大田恵里奈市議会議員）　子どもの遊び場について考えてくださってありがとうございます。

これで一ぱん質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　以上で、大田市議会議員の質問を終わります。

○議長（林　碧海市議会議員）　ここで、10分てい度休けいいたします。

午前11時16分　休けい

――――――――――――――　◇　――――――――――――――

〔議長退席・副議長着席〕

午前11時25分　開議

○副議長（堀　圭太市議会議員）　議長のしょくむを代行しますので、よろしくお願いします。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　一ぱん質問を続けます。寺本市議会議員の質問をきょかします。

12番、寺本晋之輔市議会議員。

〔12番寺本晋之輔市議会議員登だん〕

○12番（寺本晋之輔市議会議員）　府中市のかんきょうについて。

府中市のかんきょうについて一ぱん質問します。ぼくたちの住んでいる府中市武蔵台の１丁目

付近にある多摩住宅の前の西東京警察病院のことです。ぼくは、月曜日から金曜日まで通っていますが、登校するときも、下校するときが一番暗く、たまに大木のみきや太いえだが落ちていたり、落ちてきます。そこを明るくしたりすれば安心で安全な通学路になると思います。さらに、不しん者がたくさんあらわれます。不しん者が出たりしないように、もっとパトロールに力を入れてほしいと思います。遊ぶにもこんなんです。多摩住宅に住む友達も暗いと思うことがしばしばあるそうです。人の家に遊びに行くのも、みなさんは暗かったらどう思いますか。小学生や中学生を初め、しょう害を持った人でも明るくていいまちだねと言えるようなところをつくることをどう考えていますか。ぜひ回答をお願いいたします。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんをお願いします。山上　稔議員。

○山上　稔議員　寺本晋之輔市議会議員のご質問にお答えします。

まず、通学路の安全対さくとして、学校ごとに、学校とほご者と府中けい察しょが協力して通学路の点けんを行っていますが、西東京警察病院周辺においては、安全で安心な通学路にするために、街灯をつけたり、木のえだをせん定するなど、今後も明るさをかくほすることは必要なことと考えています。

また、不しん者が出ないようにパトロールすることは大切なことです。府中市では、パトロールわん章などのパトロールグッズを配布するなど、パトロール実しをサポートしているところですが、何よりも、このようなパトロールに必要なのは地いきの協力です。

ことしから、府中市の小学校、中学校ではコミュニティ・スクールが始まっています。これは、学校と地いきが協力し合って、よりよい学校、よりよい地いきにしていくことが目的です。それぞれの学校で学校と地いきの方たちの会議が行われ、いろいろなことが話し合われています。地いきのパトロールについても、その会議で話し合われ、地いきの方の協力をもらって、安心・安全なまちにしていくことが重要だと思います。

最後に、小学生や中学生を初め、しょう害を持った人でも明るくていいまちだねと言えるようなところをつくることをどう考えますかについてお答えします。

しょう害のある方も、ない方も、ともに住みやすい府中にしていくことは大切なことで、とてもいいところに気がついたと思います。しかし、例えば、しょう害のある方でも、目の不自由な方は明るくても安心して歩けません。点字ブロックやだん差をなくすことが必要となるなど、やらなければならないことは多くあります。

このように、だれもが住みやすいデザインのことをユニバーサルデザインと言いますが、みなさんが大人になるまでには府中市をもっと住みやすいユニバーサルデザインのまちにしたいと考えています。

以上です。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんが終わりました。

○12番（寺本晋之輔市議会議員）　府中市のしょう害者などの人のためにも、ユニバーサルデザインというものを使っていいまちにしていく工夫を知れたので安心しています。

これで一ぱん質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　以上で、寺本市議会議員の質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　次に、和田市議会議員の質問をきょかします。13番、和田吉平市議会議員。

〔13番和田吉平市議会議員登だん〕

○13番（和田吉平市議会議員）　緑をこれからも残し続けることについて。

ぼくはこのごろ、森が少なくなって地球温だん化というニュースを見て、何で森や林の木を切ってしまうのかなと思います。

府中市には府中郷土の森や、それ以外にもたくさん緑があります。だけど未来になったら府中市の緑は少しずつへっていくと思うと、何で木をへらしていくのかと思います。木は、ティッシュになったり、紙になったりしてしげんにもなります。だけど、木をへらして、地球やみんなのためにならないようなことになるなら、ティッシュや紙はちがうものでつくるか、木をふやしながらしたほうがいいと思います。府中市は、緑が多いのでそんなかん単にはなくならないと思うけど、だからといって、まだいっぱいあるまだいっぱいあると木を切りすぎると、いつかは木のない緑のない府中市になってしまうのでこれから未来に緑を残すにはどうしたらいいかお聞きします。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんをお願いします。遠田宗雄議員。

○遠田宗雄議員　和田吉平市議会議員の質問にお答えをいたします。

和田議員が言われるように、木はたくさんのしげんになることから、木材や紙を生産するためのばっさいや工業開発、さらには農地や牧場にするために、地球からジャングルがげん少し、さばく化が広がるなど、地球温だん化が加速されていると言われています。

しかし、日本では、木を切った分、木を植えることが法りつなどで決められているために、日本の森林面積は30年前とほとんど変わっていません。

府中市では、たく地化によって、畑や屋しき林がげん少していますが、市内の緑地は公園などの整びが進んだことなどから、ここ10年間で18.27ヘクタールふえています。新町小学校のしき地が1.28ヘクタールですから、新町小学校が約14校分もふえたという計算になります。

府中市には、国の天然記念物に指定されている馬場大門のケヤキ並木があります。市内のき業でも、近りんの小学生をむかえて、ケヤキ、クヌギ、コナラなど、約300本のなえ木を植え、森づくりが始まり、生物多様せいについて見学者がふえています。長い歴史の中で、この府中のまちをつくってきた人たちの知えを学んで、げんざいの府中を生きる人々の行動力と、未来の府中をつくろうとする新しい力がつながることが大事だと考えています。

だからこそ、和田議員の言われたように、緑を残すにはどうしたらいいかを考え、一本の木を植えて大切に育てていこう、こう決意をし、行動することが大切だと思います。

昔の緑ゆたかなまちを取りもどそうということだけではなく、自然かんきょうなど、さまざま

なゆたかさをつくり出そうという府中市のなつかしい未来の実げんのために努めていきたいと思います。

以上です。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんが終わりました。

○13番（和田吉平市議会議員）　日本にそんなせい度があるなんて知らなかったので、そのせい度を聞いて安心しました。

これでぼくの一ぱん質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　以上で、和田市議会議員の質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　次に、千石市議会議員の質問をきょかします。15番、千石泰士市議会議員。

〔15番千石泰士市議会議員登だん〕

○15番（千石泰士市議会議員）　榊原記念病院近くの信号について。

ぼくの学校では、毎年、けやきの森学園の人たちと交流をします。そのと中に信号を通ります。その信号は白糸台３丁目の榊原記念病院と近くのコンビニの間の信号で、コンビニ側から見ると、左側の信号です。その信号は、歩行者がわたるときの時間がすごく短くて、１クラスがわたり切れません。さらに、前の人がおくれてしまうと、後ろの人たちがあわててわたり、赤信号でもわたってしまいそうな人がたまにいます。ぼくも習い事でその信号を通りますが、おくれると赤信号になってしまって、とてもあぶないです。なぜ、その信号が歩行者がわたる時間を短くしてあるんですか。ご回答よろしくお願いします。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんをお願いします。西村　陸議員。

○西村　陸議員　それでは、千石泰士市議会議員からご質問のありました、朝日町通りを横だんする榊原記念病院入り口歩行者用信号についてお答えをいたします。

この場所は、わたくしもすぐ近くに住んでおり、この横だん歩道をいつも使っておりますので、先日、実さいにはかってみました。この歩行者用信号は青になってから点めつが始まるまで約９秒、赤信号になるまでに合計約13秒でした。これは、東京都公安委員会というところで道路のはばや交通量などのき定から定められているものであります。

千石議員の思いやりのし点からご指てきのあったけやきの森学園の生徒さんたちとともに、大ぜいで横だんをする場合は、今の秒数から考えても大変むずかしくきけんであると考えます。

こうしたことから、まずは信号をわたるさいには、落ち着いて、全員が一度にわたるということにこだわらず、何組かに分けて、安全と無事こを第一にゆっくりとよゆうを持ってわたるよう、心がけてほしいと思いますし、先にわたってしまったみなさんも、全員がわたり切るまで待っていてほしいと思います。

その上で、改めて考えてみますと、この交差点のＴ字路の周辺地いきは、けやきの森学園のほかにも、調布市子ども発達センター、特別養護老人ホームあさひ苑、そして榊原記念病院などの

医りょう福ししせつが集まっている地いきであり、中にはこれらのしせつを利用されているしょう害者、高れい者、リハビリをされている方々がお買い物などで利用されているかのうせいもありますので、安全かくほという観点から改めて調さをし、改ぜんの必要があるとはんだんされれば、例えばしょう害者、高れい者用の押しボタンせっ置などもけんとうできるのではないかと思います。

これからも白糸台を初めとするこの地いきを、力を合わせて思いやりのまちとして育んでいこうではありませんか。

以上です。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんが終わりました。

○15番（千石泰士市議会議員）　ありがとうございました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　以上で、千石市議会議員の質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　次に、岡野市議会議員の質問をきょかします。16番、岡野　蒼市議会議員。

〔16番岡野　蒼市議会議員登だん〕

○16番（岡野　蒼市議会議員）　府中市のしせつについて。

府中市には、楽しくおもしろいしせつや生活に役立つしせつ、生活に必要なしせつなど、わたしたちにかかわるしせつがたくさんあります。そのしせつについて質問をします。

げんざい、府中市には、白糸台プール、喫茶は～もにぃ、ふれあいの里など、子どものため、しょう害者のため、高れい者のためのしせつがあります。

わたしは、どの年代でも利用している白糸台文化センターによく通っていますが、全体的に安全せいはかくほできているのでしょうか。例えば、階だん、これは、安全せいに問題があると思われます。

さい害のさい、階だんのはばは広いほうがよいと思います。これは足をふみ外すことがあるからです。また、エレベーターが使えない場合、車いすの方は下におりることができません。だから、スロープがあったほうがいいと思います。

安心して利用できるように、改しゅうすることを望みます。もちろん、使いやすさやたいしんせいを高めるためにつくり直せば、それが一番です。

多くの人が利用しているしせつの安全せいについて、意見をのべさせていただきました。このことについて、どのようなお考えをお持ちでしょうか。わたしたちの未来、府中市の未来のために、ご回答をよろしくお願いします。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんをお願いします。西村　陸議員。

○西村　陸議員　府中市における公共しせつの安全せいかくほについて、岡野　蒼市議会議員がふだん利用している白糸台文化センターを例に挙げてご質問にお答えをいたします。

白糸台文化センターは1971年に白糸台小学校とほぼ同じ時期に建てられました。今日までエレベーターやだれでもトイレ、階だんの２列の手すりのせっ置、そして、たいしん化ほ強を行うなど、市民や利用者の方々の声を聞きながら、バリアフリー化や改しゅうを重ねてまいりました。もちろんほかの公共しせつでもそれぞれのじょうきょうにおうじた改しゅう整びを実ししてきていますが、今回、岡野議員からのするどいし点でのご指てきをいただいたように、安心・安全のためのしせつ整びに終わりはなく、かい決すべき課題はまだまだあると考えさせられました。

実はこうした数々の課題を調さ、整理し、今あるしせつのよりよい活用と、本日ここへ来てくださっているみなさんの世代へ引きついでいくために、府中市は公共しせつマネジメントという取り組みを始めています。しょう来にわたって安全で使いやすい公共しせつを目指して、みなさんからご意見をうかがいながら、これからも進めてまいります。

また、それでも思うように進まないこともあるかとは思いますが、みなさんにはぜひ協力をしていただきたいことがあります。それは、ふだんでも、さい害時でも、高れい者やしょう害者の方などがこまられていたり、これはきけんだと思う場面にそうぐうしたら、声がけをしたり、しせつスタッフや周りの利用者の方などと協力して、ぜひ助けてあげてほしいということです。

安心・安全なしせつ整びに、市民同士の助け合い、ささえ合う心が重なれば、ひ害や事こも最小げんにおさえられるものと思います。

これからもみなさんのざん新なし点からのご意見をお待ちしています。

以上です。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんが終わりました。

○16番（岡野　蒼市議会議員）　ありがとうございました。安全せいをきちんと考えていると知ってほっとしました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　以上で、岡野市議会議員の質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　次に、二田市議会議員の質問をきょかします。18番、二田珠侑市議会議員。

〔18番二田珠侑市議会議員登だん〕

○18番（二田珠侑市議会議員）　住みよいまちにするために。

わたしは府中市をもっと住みよいまちにするためにどうしたらいいかを考えました。二つのことを質問させてください。

一つ目は、道路のことです。若松町の新しくできた道路で、事こがあったと聞きました。事こが起きてしまうのは、自動車がスピードを出しすぎていたり、ちゃんととまらずに周りをかくにんしないでつっ切ったりしてしまっている人がいるからだと思います。わたしはもう一つ信号をつけたほうがいいと思います。

二つ目は、ごみの問題です。わたしがよく行くスーパーには、ペットボトルの回しゅうボック

スが置いてあります。ほかのスーパーであんまり見かけませんが、どのスーパーも回しゅうボックスがあれば、ごみの量はへると思います。また、府中市にはごみぶくろが３種類あります。調布市にもごみぶくろが３種類あります。でも調布市では、２種類のふくろだけ有料で、残りの１種類はスーパーのごみぶくろを使っているそうです。府中市は３種類全部のふくろが有料です。府中市も不ねんごみのふくろをスーパーのふくろにしたら、その分お金がかからないので、市民が笑顔になれると思います。

そこで質問です。全部のスーパーにペットボトルの回しゅうボックスを置くことはできますか。

また、不ねんごみのふくろをスーパーのふくろにすることについて、どうお考えですか。考えをお聞かせください。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんをお願いします。目黒重夫議員。

○目黒重夫議員　二田珠侑市議会議員にお答えします。

大きく言って二つの質問がありました。

一つは交通安全についてです。スピードい反についてはけい察の取りしまりをしっかりとしなければなりません。また、スピードを出させないようなかん板を立てたり、交通ルールを守るよびかけを、市の広ほうなどを通じて行う必要があると思っております。信号機はけい察が取りつけることになっておりますので、必要な場合は府中けい察しょと相談しなくてはなりません。今後、市民からの意見を参考に、交通安全対さくのてっ底と、信号機についても府中けい察しょに要望してまいります。

次は、ごみ問題の、ペットボトルの回しゅうボックスについてですが、げんざい、スーパーでの回しゅうは、スーパー自身による自主回しゅうボックスと、市が取りつけました自動回しゅう機があります。そのうち自動回しゅう機は市内10カ所のスーパーに置いてありますが、けい費はスーパーと市が負たんしております。しかし、自動回しゅう機は大変多くのお金がかかるため、これ以上ふやすのは大変むずかしいと考えております。

今後は、まだ回しゅうボックスを置いていないスーパーにお願いをしていきたいと思っております。また、できるだけペットボトルを利用しない生活も必要かと考えております。

次に、不ねんごみのふくろはスーパーのふくろにできないかの質問にお答えいたします。ごみの分け方や回しゅう方法は市によってそれぞれちがっております。府中市では、もやさないごみ、もやすごみ、よう器包そうプラスチック、それぞれ有料ぶくろで回しゅうしています。これは、有料で回しゅうすることによって、ごみのげん量やしげんになるものを分ける意しきを向上させるためです。しかし、しょう来、みんなの努力でごみがいっぱいへった場合、話し合いによっては有料ぶくろでなくてもいいとなるかもしれません。ぜひそういうふうになってほしいですよね。

以上です。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんが終わりました。

○18番（二田珠侑市議会議員）　ありがとうございました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　以上で、二田市議会議員の質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　次に、渡辺市議会議員の質問をきょかします。19番、渡辺航希市議会議員。

〔19番渡辺航希市議会議員登だん〕

○19番（渡辺航希市議会議員）　まちのごみについて。

ぼくは、学校から家に帰った後、近くの公園まで遊びに行きます。公園で遊んでいると、あることに気づきました。それはこの公園にはごみ箱がないということです。ぼくは立ちどまってしばらくごみ箱がない理由を考えました。するとわかりました。それはごみ箱があるといろいろなごみがまざりリサイクルができなくなるからです。リサイクルができないともやせるごみ、もやさないごみがぐちゃぐちゃになり全てもやしたりうめ立てしょ分されてしまうからです。それに、そのごみを回しゅうする人がいないからです。そこでごみの回しゅうについてアンケートをとりました。オレンジボックスのようにごみをいつでもすて放題とお金をはらって分別をしてごみをとりに来てもらうかで、アンケートをとりました。どちらも不便な点があります。一つ目はリサイクルができないということです。リサイクルができないとごみがぐちゃぐちゃになり全てもやすことになります。するとごみしょ理しせつがどんどんふえていって家がどんどんへっていってしまいます。二つ目はお金をはらうと、せまい道をごみしゅう集車がくねくね通る時間の問題です。これでアンケートをとると１こ目が７人で２こ目は21人もいました。だからみんなリサイクルをしたいということです。

そこで市のごみのリサイクルについて質問をします。市のごみの回しゅうはいろいろなごみに分別して回しゅうしてもらいますが、その中にリサイクルできるけどもっといろいろなものをリサイクルするにはどうすればいいでしょう。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんをお願いします。前田弘子議員。

○前田弘子議員　それでは、渡辺航希市議会議員の、まちのごみについてのご質問にお答えいたします。

まず、府中市のリサイクルの仕組みをわたくしからもかん単にご説明いたします。緑のふくろで出されるもやすごみは、稲城市のクリーンセンター多摩川というごみ焼きゃく場でもやされ、出てくるはいは建物やセメントをつくる材料としてリサイクルされています。オレンジのふくろで出されるもやさないごみや、ピンクのふくろで出されるよう器包そうプラスチックは、府中市のリサイクルプラザでしげんとなるものを取り出したり、リサイクルしています。今、市は全部で16種類のごみを集めています。このように、国の法りつにしたがい、市もごみをできるかぎりリサイクルしていますが、ごみを運んだり、しせつで機械を動かしたり、働く人たちの給料などで多くのけい費がかかっています。

今、国でも３Ｒという取り組みを進めています。ごみになるものを買わないで、ごみそのものの量をへらすリデュース、しゅう理したりしてくり返して使うリユース、別の形にして新しいせ

い品として利用するリサイクルの三つの頭文字のＲのことを言っています。

議員のご指てきのように、いろいろなものをリサイクルすることも大切ですけれども、これからは市としてはリデュースとリユースに力を入れていきたいと考えております。ごみそのものの量がへれば、リサイクルの量もへって、よりかんきょうにやさしく、けい費も少なくてすむからです。市は、今、リサイクルだけでなく、ごみそのものの量をへらしたくらしをすることや、分別することの大切さについて広ほうふちゅうや全てのご家庭にお配りしているごみ新聞、駅前やお店でのＰＲなどでよびかけております。これからも市民のみな様にご協力いただけるよう、活動していきます。

以上でございます。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんが終わりました。

○19番（渡辺航希市議会議員）　ありがとうございました。リサイクルもしているけど、リデュースやリユースのことについても深く府中市は考えているとわかって、とても安心しました。

これでぼくの一ぱん質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　以上で、渡辺市議会議員の質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　次に、渡部市議会議員の質問をきょかします。20番、渡部　和市議会議員。

〔20番渡部　和市議会議員登だん〕

○20番（渡部　和市議会議員）　少子高れい化について。

わたしは、少子高れい化について質問をします。

全国的には子どもがへり、高れい者がふえていると言われています。しかし、わたしの住んでいる府中市は子どもがふえてきていると思います。なぜかというと、わたしの小学校の児童数が前よりもふえ、周りに兄弟が多い家庭がたくさんあるからです。そこで、実さいに府中市にも少子高れい化が起きているのかぎ問に思いました。なので、府中市のげんじょうを教えてください。そして、なぜそのようなことが起きているのか理由も知りたいと思います。わたしの知っている少子高れい化への対さくには、高れい者などの体の不自由な方せん用のエレベーターをせっ置してバリアフリー化にしたり、公園やほ育園をふやし、子育てのしやすいかんきょうや、安心して子どもを産むことができるかんきょうを整えたりするなどがありますが、府中市はげんざいどのような対さくを行っているのですか。また、今後の少子高れい化への対さくはどのようにお考えですか。みなさんの考え、回答をお聞かせください。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんをお願いします。前田弘子議員。

○前田弘子議員　それでは、渡部　和市議会議員の、少子高れい化についてのご質問にお答えします。

日本全体では、生まれる子どもの数がへったこと、平きんじゅ命がのびたこと、働く人たちの人口のわり合がへっていることなどによる少子高れい化が大きな社会の課題となっていることは

ごぞんじのとおりです。ただ、府中市ではご指てきのように、人口も子どもの数もぞう加して、学校の教室が足りなくなったりしていますが、それは府中市が都市部に位置していることが大きいと考えられます。しかし、府中市で生まれる子どもの数は、ここ10年は2,100人から2,300人台とほぼ横ばいであり、小学校に入る前の子どもたちの数は、平成23年がピークで、今後は少しずつへっていくと予想しています。しかも、高れい者のわり合は今後ぞう加するとも考えております。

少子化が進む理由として、女せいの働き方や考え方の変化が挙げられます。結こんや出産などで仕事をやめたりせず、わかいうちに結こんしなくなったりして、女せいが産む子どもの数がへったり、出産の年れいが高くなったりしています。わかい世代のしゅう入がへり、子育てや教育にお金がかかることから、子どもをたくさん産めないと考えたり、あるいは住まいがせまいことなども理由だと言われております。

府中市では、近いしょう来の少子高れい化社会をむかえても、だれもが安心してくらせる住みよいまちにするための対さくを進めてまいります。

少子化対さくとしては、安心して出産や子育てができるほ育所や、子育てについて相談できる仕組みや、親子の交流の場をじゅう実させていきます。また、高れい化対さくとしては、住みなれた生活の場所で、一人一人の必要におうじたかいごや医りょう、にん知しょうの予ぼうや生活のしえんを、地いきの人たちの見守りの中でも行えるような仕組みをこれからきちんとじゅう実させていきたいと考えております。

以上です。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんが終わりました。

○20番（渡部　和市議会議員）　ありがとうございました。少子高れい化にはさまざまな理由があることがわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　以上で、渡部市議会議員の質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　次に、落合市議会議員の質問をきょかします。21番、落合桃菓市議会議員。

〔21番落合桃菓市議会議員登だん〕

○21番（落合桃菓市議会議員）　わか者とお年よりの笑顔あふれるまちについて。

お年よりと小学生・わか者などがふれ合う場所や機会が少ないので、もっとお年よりとわか者がふれ合う機会をふやしたら孫や子どもともいろいろなもので遊ぶこともできるようになるし、いろいろなものに自由に参加できるとまちの人、市の人とも仲よくなり助け合うこともできるようになると思うので、お祭りなどのポスターなどをお年よりに見てもらえば楽しめるし交流も深まるということです。またお年よりから文化センターなどの行事に参加してもらうともっとよい市になると思います。回答をお願いします。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんをお願いします。備　邦彦議員。

○備　邦彦議員　落合桃菓議員の、わか者とお年よりの笑顔あふれるまち、お年よりと小学生・わか者などがふれ合う場所や機会のぞう加についての質問にお答えいたします。

かく家族化が進てんしているげん代社会では、高れい者だけの世帯や、ひとりぐらしの高れい者がぞう加しています。

このような中、府中市では、高れい者がこ立せず、地いきの人とかかわりを持ちながら、安心して生き生きとくらし、さらには高れい者がつちかった知しきやけい験、ぎじゅつを生かしながら活やくし、地いきの一員としてわかい世代とともにささえ合う地いきづくりを進めております。また、学校でも同じように行っていますし、町内会等でも行っています。

その取り組みの一つとして、熱中しょうが心配される夏の期間に、参加者同士がこん談し、熱中しょうを予ぼうするとともに、住民同士の交流を深めていただくことを目的に、女性センターで、だれもが立ちよることができるすずやかサロンを開さいしています。また、地いきでもお祭りやぼんおどり大会等も行われ、そこでは子どもたちも参加していますので、この夏、みなさんもぜひ立ちよってみてください。

また、ひとりぐらし高れい者等が地いきとのかかわりを持ちながら、生きがいを持って生活していくため、市では、市内11カ所にある地域包括支援センターに、高れい者が気軽に立ちよれるサロンという場所をつくり、高れい者の生活や生きがいをささえる事業の実しをいらいしております。このサロンでは、近りんのようち園と交流したり、地いきのイベントへ参加するなど、高れい者と子どもの交流も行っております。

今後は、地いきでのお祭りや文化センターなどのイベントを通じて、日じょう生活においても、高れい者と小学生、わか者のふれ合う機会や場をふやし、さらに、わか者と高れい者の交流を深めていけるよう、笑顔あふれるまちの実げんに向けて努力してまいります。

以上でございます。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんが終わりました。

○21番（落合桃菓市議会議員）　ありがとうございました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　以上で、落合市議会議員の質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　次に、本橋市議会議員の質問をきょかします。22番、本橋敬悟市議会議員。

〔22番本橋敬悟市議会議員登だん〕

○22番（本橋敬悟市議会議員）　自然ゆたかな府中のまち。

これから、自然かんきょうについて、一ぱん質問を行います。

ぼくは最近、友達と放課後に、生き物を観察しに行きます。そこは、すぐ近くに道があって、人がよく通るので安全で安心です。

しかし、いつも同じ場所なので、観察できる生き物もかぎられていて、何回も行くとだんだんつまらなくなってしまいます。そして、遊びがゲームばかりになってしまいます。ぼくはゲームも好きだけど、生き物を見たりさわったりするほうが好きです。

それに緑がたくさんあったほうが気持ちいいし、楽しいし、いいことがたくさんあるので、もっとぼくたちのような子どもが自然を楽しんだり、自然にふれられる場所をふやしてほしいです。

そのために、自然かんきょうについてどのような考えを持っていますか。府中市の未来に緑、自然を残すために、ご回答をお願いします。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんをお願いします。備　邦彦議員。

○備　邦彦議員　それでは、本橋敬悟市議会議員の、自然かんきょうについてのご質問にお答えします。

自然かんきょうは、都市化の進てんや、人間によって持ちこまれた外来種により生たいけいの変化が進行しており、ゆたかな自然が失われつつあります。しかしながら、府中市におきましては、浅間山、多摩川、武蔵台公園等のゆたかな自然かんきょうにめぐまれており、これらの自然かんきょうをいかにてき切に次世代に引きついでいくかが重要課題とにんしきしております。

以前はホタルの養しょくもやっていましたし、今も蓮を見る会も行っております。そこで生き物の生息や緑地のほ全等について、府中かんきょう市民の会、浅間山自然保護会、府中野鳥クラブ等の自然ほごだん体や、府中市自然かんきょう調査員会議等がげんざいのじょうきょうを調さするなど、自然かんきょうのい持ほ全に当たってさまざまな活動をしております。これらをふまえ、地いきの特せいにおうじた生物多様せいをほ全するとともに、府中市のゆたかな自然を次世代に残していくために、良好な自然かんきょうのほご回ふくに取り組んでおります。

なお、学校におけるかんきょう教育のしえんをふくめ、府中水辺の楽校やホタルし育事業、ウオーキングツアー等、自然に親しみを持てる事業をけい続実しし、子どもたちが自然にふれることができる機会のかくじゅうにも努めてまいります。

以上でございます。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんが終わりました。

○22番（本橋敬悟市議会議員）　ありがとうございました。しっかりと未来に自然を残すために対おうしていることに安心しました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　以上で、本橋市議会議員の質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　次に、林市議会議員の質問をきょかします。14番、林　碧海市議会議員。

〔14番林　碧海市議会議員登だん〕

○14番（林　碧海市議会議員）　府中市の各図書館・各学校の図書室の本のかし借りについて。

府中市の各図書館・各学校の図書館の本のかし借りについて一ぱん質問を行います。わたしは、

毎週１回は、図書館に行き、本を借りたりしています。学校の図書室にも本をかしてもらっているのですが、読みたい本が、図書室になくて、図書館から、もらった、リクエストカードに名前や、かし出し番号を書いて、学校の図書の先生にわたし、先生が、府中市の各図書館に持っていくという、すごく大変なことをしています。

府中市の各図書館は、リクエストカードを出すと、ほかの府中市内の図書館の本を、取りよせてきてくれたり、読みたい本が図書館にあるけれどもかし出し中というときとかも、リクエストカードを出すと、読みたい本が返されたときに、すぐに読めます。しかも、府中市の図書館は、ほかの市ともつながっていて、府中市に読みたい本がないときには、ほかの市から取りよせてくれるのですが、府中市の学校の図書室は、その機のうが、うまく使えないのは、残念なので、今後は、楽に、いろんな図書館・図書室の本のかし借りをしてほしいです。わたしたちのためにも、ぜひご回答をお願いします。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんをお願いします。遠田宗雄議員。

○遠田宗雄議員　林　碧海市議会議員の読書好きはすばらしいですね。わたしもふるさと山形の小学校の２階にあった図書室が好きで、たくさんの本に出会いました。ただ、文章のつくり方は今でも上手ではありませんが、一生けん命答べんさせていただきます。

今の府中市内14の図書館には、約140万さつの本、ぞう書があります。22の小学校には32万さつ、新町小学校にも約１万さつがありますね。昨年度１年間で府中市内の小学生が読んだ本の数は44万8,000さつでした。その中で、「かいけつゾロリ」や「ミッケ！」、「マジック・ツリーハウス」など、いずれもシリーズものが多く読まれているようです。

さて、図書のかし出しについてですが、府中市には学級かし出し、学校かし出しなどのせい度があります。そして、毎週金曜日に学校へ配送もできます。林議員が希望する、市の図書館と同じように、学校でも楽に本のかし出しができることは大切なし点だと思います。そのために、各学校間のぞう書けんさくや相ごかし出し、さらには配送日をふやすなど、本を借りやすくすることを一日も早く実げんできるよう、けんとうしていきます。そして、リクエストカードの活用など、読書かんきょうをより一そう整びすることで、本に親しみ読書する力を身につけ、こせいゆたかで健やかに成長できるよう努めてまいります。

わたしは、「永遠の都」や「レ・ミゼラブル」が好きでした。林議員は小学校の６年間で何さつの本に出会い、読むことができるか楽しみですね。これからもたくさんの本を読んで成長のかてにしてください。そして、府中市だけではなく、世界市民のために活やくをしていただきたいと思います。

以上です。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　答べんが終わりました。

○14番（林　碧海市議会議員）　ありがとうございました。

これで、わたしの一ぱん質問を終わります。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　以上で、林市議会議員の質問を終わります。

以上で一ぱん質問を終わります。

◇

３．子ども議員てい出議案　府中市がみんなで創る、笑顔あふれる、住みよいまちとなることを目指す決議

○副議長（堀　圭太市議会議員）　次に、日てい第３子ども市議会議員てい出議案府中市がみんなで創る、笑顔あふれる、住みよいまちとなることを目指す決議を議題とし、しゅし説明とてい案説明を代表者に求めます。１番、後藤　晴市議会議員、13番、和田吉平市議会議員、22番、本橋敬悟市議会議員。

〔代表者登だん〕

○22番（本橋敬悟市議会議員）　わたしたちは、７月30日に事前会議を行い、その中で、みんなで創るまち特別委員会、笑顔あふれるまち特別委員会、住みよいまち特別委員会の三つの委員会に分かれて、府中市の未来について話し合いをしました。みんなを代表し、３人の委員長でわたしたちの思いを決議として発表します。

○13番（和田吉平市議会議員）　子どもてい出議案　府中市がみんなで創る、笑顔あふれる、住みよいまちとなることを目指す決議　上記の議案をてい出する。　平成26年８月５日　てい出者　府中市子ども市議会議員　後藤　晴　牧野愛未　小川裕喜　原田　玲　小谷圭祐　千本松千尋　榮留仙礼　高橋　慧　瓜生光珠　會田夏美　大田恵里奈　寺本晋之輔　和田吉平　林　碧海　千石泰士　岡野　蒼　堀　圭太　二田珠侑　渡辺航希　渡部　和　落合桃菓　本橋敬悟。

○１番（後藤　晴市議会議員）　わたしたち、府中の子どもたちは、府中市が誕生してから60年をむかえたこの年を機に、未来に向かってこのまちが、みんなで創る、笑顔あふれる、住みよいまちであり続けることを目指し、次のことを決議します。

○22番（本橋敬悟市議会議員）　わたしたちは、子どもからお年寄りまで、府中市に住んでいる人が伝統を受け継ぎ、協力をして楽しく元気に暮らせるために、みんなで一緒に、府中市を活性化していきます。

○13番（和田吉平市議会議員）　わたしたちは、府中の子どもたちからお年寄りまでが、楽しく笑顔で安心して過ごせるように、みんなが交通ルールを守り、笑顔であふれるイベントを開催し、まちいっぱいに緑をふやします。

○１番（後藤　晴市議会議員）　わたしたちは、府中のみんなが助け合い、安心できるまちにするために、一人一人が住みよいまちになるように話し合います。

○22番（本橋敬悟市議会議員）　みんなでつくるまち特別委員会委員長、本橋敬悟。

○13番（和田吉平市議会議員）　笑顔あふれるまち特別委員会委員長、和田吉平。

○１番（後藤　晴市議会議員）　住みよいまち特別委員会委員長、後藤　晴。

○副議長（堀　圭太市議会議員）　代表者のみなさんは、自席におもどりください。

〔代表者こうだん〕

○副議長（堀　圭太市議会議員）　これよりさい決に入ります。さい決は起立で行います。

おはかりします。本案にさん成の方の起立を求めます。

〔さん成者起立〕

○副議長（堀　圭太市議会議員）　起立者全員です。よって、本案は全会一ちでか決されました。

（はく手）

ご着席願います。

以上で本日の日ていは全て終りょうしました。

◇

○副議長（堀　圭太市議会議員）　へい会に先立ち、高野律雄市長からこうひょうをいただきたいと思います。高野市長、お願いします。

〔高野律雄市長登だん〕

○高野律雄市長　みな様、改めまして、ただいまごしょうかいいただきました府中市長の高野律雄でございます。

本日、府中市市せいし行60周年を記念して開さいされました子ども市議会のへい会に当たりまして、一言こうひょうとしてのごあいさつを申し上げます。

まず、子ども市議会議員のみなさん、本日は大変おつかれさまでした。大人の議員のみなさんによる定例市議会本会議と同様に、きんちょう感あふれるすばらしい会議だったと思います。みなさんもすでによく知っているとおり、府中市は60周年という大きな節目の年をむかえ、「ともに未来へ　笑顔あふれる　わがまち府中」という大変すてきなキャッチコピーを市民の方からいただき、さまざまな記念事業を実ししております。

きょうの子ども市議会も、未来をになう府中の子どもたちに、市議会や市の仕事について体験してもらいたいという思いから、市議会議員のみなさんのご発案により開さいされたものであります。

府中市は、昭和29年４月１日に、当時の府中町、西府村、多磨村が合ぺいしてたん生いたしました。当時の人口は約５万人でスタートいたしました府中市も、以来、市民や市議会のみな様を初めとした多くの方々のごじん力により、げんざいは人口約25万人、これをこえる自治体へと成長をとげてきました。

今、わたくしは市長として市議会議員のみな様とともに府中市のさらなる発てんのために力をつくしておりますが、本日は府中市のしょう来をになわれるみなさんから、さまざまなご質問やご意見をいただきました。その中で、みなさんが府中市のしょう来を見つめて、福し、かんきょう、教育や観光など、市せいのさまざまな分野にわたりまして、するどいし点で礼ぎ正しく堂々

と質問をしているすがた、また、議事進行をつとめているすがたを見て大変たのもしく感じ、感げきをいたしました。

また、ただいま、府中市がみんなで創る、笑顔あふれる、住みよいまちとなることを目指す決議が議決されました。みなさんの決議をお聞きして、わたくしは多くの市民のみな様が、このまちでくらすことをほこりに思い、おたがいをそん重して協働し、歴史と伝とうを大切にすることで、この府中市が笑顔あふれるまちとして発てんしていくであろうことをかく信いたしました。

どうか、子ども議員のみなさんには、本日のき重なけい験をきっかけとして、さらに府中市にきょう味を持っていただき、自分のまちが笑顔あふれる住みよいまちになるよう、みずから行動していただくとともに、かがやかしい未来に向かって羽ばたいていくことを願っております。

最後になりますが、子ども市議会の開さいにごじん力をいただきました府中市議会を初めほご者のみなさん、そして学校のしょ先生方など、ご関係みな様方に心よりおん礼を申し上げまして、こうひょうのあいさつとさせていただきます。

本日は大変ありがとうございました。（はく手）

○副議長（堀　圭太市議会議員）　高野市長、ありがとうございました。

次に、奈良﨑久和かんさ委員からへい会のごあいさつをお願いします。

○奈良﨑久和議会選出かんさ委員　ただいまごしょうかいいただきました、市議会から選出をされておりますかんさ委員の奈良﨑久和でございます。

本日は、子ども市議会のみな様、林議長、また、堀副議長さん初め、みな様方には本当におつかれさまでした。30日の事前会議、そして本日の一ぱん質問とはい見をさせていただいて、市長からもありましたが、わたくしも本当に心強くたのもしく見させていただきました。みなさんに負けないように、わたしたち市議会議員も、市民から選出をされております。それぞれのこころざしと原点をわすれずにがんばっていこうと決意を新たにしたところでございます。

今回の子ども議会の開さいに当たってご協力をいただいた高野市長、吉野副市長、浅沼教育長を初め、多くの関係者のみなさん、そして校長先生を初め学校関係のみなさん、ほご者のみな様に、この場をおかりいたしまして改めて心からおん礼申し上げます。本当にありがとうございました。

子ども議会のみなさんに、これからさらにご活やくされ、また、大成長していただくことを念願し、以上をもちまして市せいし行60周年記念府中市子ども市議会をへい会といたします。大変にありがとうございました。（はく手）

○副議長（堀　圭太市議会議員）　ありがとうございました。府中市議会議員のみなさんには、おいそがしい中、ご出席いただき、丁ねいにご答べんくださいまして、まことにありがとうございました。子ども議員を代表してお礼申し上げます。

以上で、府中市子ども市議会をへい会いたします。（はく手）

○村木　茂議会運営委員長　これをもってへい会いたします。長い間ありがとうございました。

午後０時26分　へい議・へい会

平成２６年８月５日（火曜日）

府中市子ども市議会会議録（午後の部）

（市せいし行６０周年記念）

府中市子ども市議会

平成26年府中市子ども市議会会議録（午後の部）

８月５日（火曜日）

出席子ども市議会議員（22名）

1　番	小　幅　脩太郎	市議会議員	（府中第二小学校）
2　番	渋　谷　佳　奈	市議会議員	（府中第二小学校）
3　番	黒　部　英　司	市議会議員	（府中第四小学校）
4　番	浅　岡　ひいろ	市議会議員	（府中第四小学校）
5　番	西　本　　葵	市議会議員	（府中第六小学校）
6　番	島　田　勝　成	市議会議員	（府中第六小学校）
7　番	桑　名　　優	市議会議員	（府中第八小学校）
8　番	安　齋　穂乃佳	市議会議員	（府中第八小学校）
9　番	林　　香　那	市議会議員	（府中第十小学校）
10　番	高　柳　悠　意	市議会議員	（府中第十小学校）
11　番	小　泉　百萌子	市議会議員	（住吉小学校）
12　番	西　森　爽　悟	市議会議員	（住吉小学校）
13　番	塚　田　京　佳	市議会議員	（本宿小学校）
14　番	西　江　　類	市議会議員	（本宿小学校）
15　番	石　田　智　治	市議会議員	（矢崎小学校）
16　番	池　田　伊　織	市議会議員	（矢崎小学校）
17　番	田　中　海　希	市議会議員	（小柳小学校）
18　番	森　　悠衣花	市議会議員	（小柳小学校）
19　番	廣　瀬　愛　奈	市議会議員	（四谷小学校）
20　番	市　川　穂　積	市議会議員	（四谷小学校）
21　番	大　宅　優　志	市議会議員	（日新小学校）
22　番	中　島　愛　海	市議会議員	（日新小学校）

欠席議員　な　し

議会側出席者

高野政男	議長
比留間利蔵	副議長
奈良﨑久和	議会選出かんさ委員
赤野秀二	議会運営委員会副委員長
浅田多津子	議員
田村智恵美	議員
桑島耕太郎	議員
臼井克寿	議員
加藤雅大	議員
福田千夏	議員
吉村文明	議員
西宮幸一	議員
横田実	議員
服部ひとみ	議員
村崎啓二	議員

来ひん

高野律雄	市長
吉野誠	副市長
浅沼昭夫	教育長

議　事　日　て　い（午　後　の　部）

第１　会期の決定について

第２　一ぱん質問

第３　子ども議員てい出議案　府中市がみんなで創る、笑顔あふれる、住みよいまちとなることを目指す決議

○赤野秀二議会運営副委員長　お待たせしました。子ども市議会議員のみなさんがこれより入場してまいります。みな様、ご起立の上、はく手をもっておむかえいただきたいと思います。

〔子ども議員入場〕

○赤野秀二議会運営副委員長　ご着席ください。

わたしは、本日進行役をつとめます府中市議会議会運営委員会副委員長の赤野秀二でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、最初に開会の言葉を比留間利蔵副議長からお願い申し上げます。

〔比留間利蔵副議長登だん〕

○比留間利蔵副議長　みなさん、こんにちは。ただいまごしょうかいいただきました市議会副議長の比留間利蔵でございます。ことしは府中市が生まれてちょうど60周年の記念すべき年です。このことを記念いたしまして、本日は市内の小学生のみなさんにお集まりいただき、子ども市議会を開さいする運びとなりました。子ども市議会議員のみなさん、暑い中お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。また、ご来ひんのみな様には、何かとおいそがしい中、ごりん席たまわりましてありがとうございます。この場をおかりしまして厚くお礼申し上げます。

それでは、午前中に引き続き、午後もがんばってください。

ただいまより府中市せいし行60周年記念事業、府中子ども市議会を開会いたします。よろしくお願いいたします。（はく手）

○赤野秀二議会運営副委員長　ありがとうございました。

次に、高野政男議長がごあいさつを申し上げます。

〔高野政男議長登だん〕

○高野政男議長　みなさん、こんにちは。ごしょうかいをいただきました、議長の高野政男でございます。本日は、各小学校の代表の方が子ども市議会議員のみなさんになっていただきまして、市せいし行60周年を記念する子ども市議会が、このようにせい大に開かれることを大変うれしく思っております。特に、子ども市議会のみなさんは今、夏休み中ですよね。にもかかわりませず、各学校の代表としてみなさんがここに出席をいただいております。本当にありがとうございます。

そして、本日この機会をもうけるに当たりまして、ご家族の方、そして学校関係者の方がいろいろな形でバックアップをしていただきまして、まことにありがとうございます。本当に記念すべき議会が開けるんじゃないかと、感謝を申し上げます。

60年といいますと、みなさんのお父さん、おじいさんぐらいでしょうか。60さいに、府中市がなりました。そのころ、わたくしは高校生のなりたてぐらいでございまして、60年というのはやっぱり大きな年を重ねているんだなということを感じていただければと思います。そのころの府中はまだまだ、今のような大きな建物もなくて、畑や田んぼや、そして道路なども歩道と車道の区別がなくて、車が通るとほこりだらけになるような、まだまだそんなような府中市でございました。それが、みな様の先ぱい方が、今の府中市をつくり上げていただいているんですね。ぜひともそのことを考えていただきながら、みなさんの質問もすばらしい質問をいただいております

ので、これからの府中市の発てんにつなげていただければなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

そして、みなさんには７月30日に集まっていただきまして、みんなで創るまち特別委委員会、笑顔あふれるまち特別委員会、住みよいまち特別委員会の三つの委員会に分かれていただきましたね。そして、それぞれ決意表明をしていただきまして、府中市の未来に対するゆめですとか、ほう負ですとか、活発に議ろんをしていただいて、それをまとめていただいて、きょう発表いただくということでございますので、期待をさせていただいております。そして、今まで府中に住んでいて、こういうことが府中市に、自分たちにとってこうしたらいいかなということをご自分で考えて、お一人お一人が自分の考え、自分の言葉で質問していただくという機会が持てたことを大変うれしく思っております。それを一生けん命、いつも質問する市会議員のみなさんが、みなさんの質問に対して丁ねいに答えさせていただきますので、どうぞお聞きいただきたいと思います。みなさんもきんちょうしていると思いますが、議員のほうがもっときんちょうしているんじゃないかと思いますので、するどい質問をよろしくお願いいたします。

結びに、この子ども市議会を通じまして、多くのみなさんがせい治や議会に関心を持っていただきまして、これからのかけがえのない、大好きなふるさと府中をしっかりと発てんをさせていただければな、こういうことを期待させていただきます。本日は本当に思い出に残る一日にしていただければな、こういうふうに思いましてごあいさつを結ばせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。（はく手）

○赤野秀二議会運営副委員長　ありがとうございました。

次に、子ども市議会議員のみなさんに自こしょうかいをしていただきたいと思います。マイクの向きをそれぞれのみなさんの向きに自由に合わせて発言してください。

では、議席番号１番の小幅脩太郎議員から、議席順にお願い申し上げます。

○１番（小幅脩太郎市議会議員）　１番、府中第二小学校、小幅脩太郎です。よろしくお願いします。（はく手）

○２番（渋谷佳奈市議会議員）　２番、府中第二小学校、渋谷佳奈です。よろしくお願いします。（はく手）

○３番（黒部英司市議会議員）　３番、府中第四小学校、黒部英司です。よろしくお願いします。（はく手）

○４番（浅岡ひいろ市議会議員）　４番、府中第四小学校、浅岡ひいろです。よろしくお願いします。（はく手）

○５番（西本　葵市議会議員）　５番、府中第六小学校、西本　葵です。よろしくお願いします。（はく手）

○６番（島田勝成市議会議員）　６番、府中第六小学校、島田勝成です。よろしくお願いします。（はく手）

○７番（桑名　優市議会議員）　７番、府中第八小学校、桑名　優です。よろしくお願いします。

（はく手）

○８番（安齋穂乃佳市議会議員）　８番、府中第八小学校、安齋穂乃佳です。よろしくお願いします。（はく手）

○９番（林　香那市議会議員）　９番、第十小学校の林　香那です。よろしくお願いします。（はく手）

○10番（高柳悠意市議会議員）　10番、第十小の高柳悠意です。よろしくお願いします。（はく手）

○11番（小泉百萌子市議会議員）　11番、住吉小の小泉百萌子です。よろしくお願いします。（はく手）

○12番（西森爽悟市議会議員）　12番、住吉小学校の西森爽悟です。よろしくお願いします。（はく手）

○13番（塚田京佳市議会議員）　13番、本宿小学校の塚田京佳です。よろしくお願いします。（はく手）

○14番（西江　類市議会議員）　14番、本宿小学校の西江　類です。よろしくお願いします。（はく手）

○15番（石田智治市議会議員）　15番、矢崎小学校の石田です。「いしだ」と間違えないようによろしくお願いします。（はく手）

○16番（池田伊織市議会議員）　16番、矢崎小学校の池田伊織です。よろしくお願いします。（はく手）

○17番（田中海希市議会議員）　17番、小柳小学校の田中海希です。よろしくお願いします。（はく手）

○18番（森　悠衣花市議会議員）　18番、小柳小学校の森　悠衣花です。よろしくお願いします。（はく手）

○19番（廣瀬愛奈市議会議員）　19番、四谷小学校の廣瀬愛奈です。よろしくお願いします。（はく手）

○20番（市川穂積市議会議員）　20番、四谷小学校の市川穂積です。よろしくお願いします。（はく手）

○21番（大宅優志市議会議員）　21番、日新小学校の大宅優志です。よろしくお願いします。（はく手）

○22番（中島愛海市議会議員）　22番、日新小学校の中島愛海です。よろしくお願いします。（はく手）

○赤野秀二議会運営副委員長　次に、本日出席されている府中市議会議員から自こしょうかいをお願いします。

初めに、浅田議員から順次お願いいたします。

○浅田多津子議員　浅田多津子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。（はく手）

○田村智恵美議員　田村智恵美と申します。どうぞよろしくお願いいたします。（はく手）

○桑島耕太郎議員　桑島耕太郎と申します。よろしくお願いいたします。（はく手）

○臼井克寿議員　臼井克寿と申します。よろしくお願いいたします。（はく手）

○加藤雅大議員　加藤雅大と申します。よろしくお願いいたします。（はく手）

○福田千夏議員　福田千夏と申します。よろしくお願いいたします。（はく手）

○奈良﨑久和議会選出かんさ委員　府中市かんさ委員をしております奈良﨑久和でございます。よろしくお願いいたします。（はく手）

○吉村文明議員　吉村文明と申します。よろしくお願いいたします。（はく手）

○西宮幸一議員　西宮幸一と申します。よろしくお願いします。（はく手）

○横田　実議員　横田　実です。よろしくお願いします。（はく手）

○服部ひとみ議員　服部ひとみです。よろしくお願いいたします。（はく手）

○村崎啓二議員　村崎啓二です。どうぞよろしくお願い申し上げます。（はく手）

○赤野秀二議会運営副委員長　次に、本日ご出席いただいている来ひんのみな様のごしょうかいをいたします。

高野律雄市長。

○高野律雄市長　みなさん、こんにちは。がんばってください。（はく手）

○赤野秀二議会運営副委員長　浅沼昭夫教育長。

○浅沼昭夫教育長　こんにちは。元気よくがんばってください。（はく手）

○赤野秀二議会運営副委員長　このほかに、吉野誠副市長が後ほどおくれて見えられます。

では次に、本日の進行についてでございますが、議席に配付してあります議事日ていにより進めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。なお、子ども市議会議員のみなさんにおかれましては、夏、本当に議場内も暑くなりますので、自由に水分のほ給をしてください。よろしくお願いします。

それでは、あらかじめ正副議長が選出されておりますので、ごほう告いたします。議長には４番浅岡ひいろさん、副議長には５番西本　葵さん。

以上でございます。

それでは浅岡議長、議長席にお着き願います。

〔浅岡議長着席〕

○赤野秀二議会運営副委員長　それでは、ご起立願います。

〔全員起立〕

○赤野秀二議会運営副委員長　一同、礼。

ご着席願います。

◇

午後２時19分　開会・開議

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　ただいまから、府中市子ども市議会を開会いたします。

ただいまの出席議員は22名です。定足数に達していますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の子ども市議会の記録およびほう道のための写真さつえいおよびビデオさつえいの希望があり、これをきょかしましたので、ごりょうしょう願います。

―――――――――――――― ◇ ――――――――――――――

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　それでは、日ていに入ります。

―――――――――――――― ◇ ――――――――――――――

１．会期の決定について

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　日てい第１会期の決定についてを議題とします。

おはかりします。会期は本日１日としたいと思いますが、ごい議ありませんか。

〔「い議なし」とよぶ者あり〕

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　ごい議なしとみとめ、会期は本日１日と決定しました。

―――――――――――――― ◇ ――――――――――――――

２．一ぱん質問

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　次に、日てい第２一ぱん質問に入ります。

各議員から通告のあった質問事こうについては、お手元に配付しました一ぱん質問通告表のとおりです。この順番に質問をきょかします。

初めに、西本市議会議員の質問をきょかします。５番、西本　葵市議会議員。

〔５番西本　葵市議会議員登だん〕

○５番（西本　葵市議会議員）　府中市の公園について一ぱん質問を行います。

わたしは、ボール遊びが好きです。たまに公園などでボール遊びをやるときがあります。この前、近くの公園でサッカーをしていました。そうしたら、近所の人にここではサッカーはしてはいけませんよと注意されてしまいました。でも、ボール遊びきん止のかん板がなかったので、サッカーをやってもよいと思い、やっていました。公園はたくさんの人が利用するところだと思いますが、ボール遊びを自由にできる場所も必要だと思います。

そこで、府中市の公園についてお聞きします。府中市にはボールで遊べる公園がいくつぐらい

ありますか。だれでも利用できるように、どのような工夫をしているのですか。ぜひご回答をお願いします。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんをお願いします。臼井克寿議員。

○臼井克寿議員　ただいまの西本　葵議員のご質問を聞きまして、わたくしも子どものころ公園で遊んでいて、よく近所のおじさんにボール遊びをおこられたことを思い出しながら、これより第六小学校からご選出されました西本　葵議員のご質問にお答えしたいと思います。よろしくお願いいたします。

公園は、小さい子どもからお年よりまで、多くのみな様にご利用いただけるしせつですが、それぞれの公園の利用じょうきょうなどにより、ボール遊びなどのルールを決めております。府中市内には約350カ所の公園が設置されており、みな様の身近によう児公園、広場、緑地、また緑道などがあります。身近にあることからも、そのほとんどがげんざい、住たく地ととなり合わせになっております。ご質問のボール遊びについてですが、き本的にはどの公園でもボールを使って遊ぶことができることとなっております。しかし、公園の利用じょうきょうや大きさなどにより、例えばサッカーボールや野球のボールなどが近くのお家の庭に入ってしまったり、ガラスやかべに当たってしまうなど、公園の近くに住んでいる方々にめいわくとなる場合などは、公園でのボール利用のルールを後から追加していることがあります。これからも公園の利用じょうきょうなどにより、地いきのみな様や学校の関係者などと一しょに、それぞれの公園の利用じょうきょうに合ったルールづくりをけんとうしていくとよいと考えております。

ちょうどことしはサッカーワールドカップが開さいされたこともあり、男女問わず公園でのサッカー遊びがふえております。子どもたちが外でボール遊びをすることは大変に喜ばしいことではあるのですが、一方で残念ながら公園の近くに住んでいる方々からの苦じょうも多くとどいております。府中市としては、子どもたちがのびのび遊べる公園が必要であると考えておりますので、住たく地ととなり合わせの公園などには、フェンスを高くしたり周辺にじゅ木を植えたりし、どの公園でもボール遊びができるようにしていきたいと考えております。

以上です。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんが終わりました。

○５番（西本　葵市議会議員）　ありがとうございました。公園のことについてよくわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　以上で、西本市議会議員の質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　次に、小幅市議会議員の質問をきょかします。１番、小幅脩太郎市議会議員。

〔１番小幅脩太郎市議会議員登だん〕

○１番（小幅脩太郎市議会議員）　安心してすごせるまちをつくるためにの一ぱん質問を行います。

府中市の、安心してすごせるまちについて一ぱん質問を行います。ぼくたち子どもは、ニュー

スや府中市からのメール、学校からの手紙などで不しん者のじょうほうをよく耳にします。街灯も多く、明るいのですが、それでも府中市には、そんな不しん者が出そうな場所がたくさんあり、大人よりも小さく、目線も低く、し野もせまいぼくたちはとてもこわいです。

宮町中央公園や大國魂神社は暗く、八幡神社の近くのぞう木林や万蔵庵公園などの見通しの悪いところには、対さくに街灯もありますが、それでも暗いのでぼくたち子どもはやはりこわいです。また、そういったところに人がいないと、なお心配です。ぼくはそのような死角を防ぐためにポスターで教えたり、街灯をもっとせっ置したり、細い道を広げたらいいと思います。このようなところを大人の目線で見たらどうなのか、お聞きします。また、このような場所を今後、どうお考えかもお聞きします。ぜひご回答をお願いします。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんお願いします。加藤雅大議員。

○加藤雅大議員　それでは、小幅脩太郎議員のご質問の、安心してすごせるまちをつくるためにについて、わたしからお答えいたします。

府中市では、みなさんが安心してすごせるまちとなるよう、さまざまな取り組みを行っております。例えば、不しん者じょうほうなど、学校からよせられたじょうほうをもとに、注意をよび起こす意味で府中市メール配信サービスを送信しています。このメールで不安に感じることも多いかと思いますが、みなさんの安全を守る意味でも参考にして行動してもらえばと考えております。

次に、小幅議員のご指てきの暗い場所や見通しの悪い場所については、やはりはんざいなど、起こるかのうせいがあるのではないかと考えています。このような場所をなくすことができるよう、ＰＴＡや地いきの方、学校のみんなで作成する地いき安全マップなどから、きけんと思うか所をかくにんし、パトロールの実しや街灯、注意かん板をつけるなど、きけんなじょうきょうをつくらないよう、悪いところは改めていく必要があると考えております。また、街路灯については道路の明るさをかくほし、安全せいの向上のために必要なしせつであり、周辺のじょうきょうや道路の形たいに合わせ、せっ置間かくなどきじゅんにもとづき、市民のみな様のご要望に応えられるよう、せっ置しております。

ただし、街灯をふやすことに当たっては、周辺に住まわれる方などの、明るくなることは生活かんきょうへのえいきょうなどの心配もありますので、必要な明るさをたもった上で、地いきのみな様のご理かいのもと、ふやす必要を考えたいと思っております。また、木のえだを切ることで明るさをますこともできますので、工夫してまいります。

最後に、せまい道路を広げることについては、ぼうはんせいを高める上でとてもよい方法ですが、整び工事をするためには道路周辺関係者のみな様のご理かいとご協力が必要となります。そこで、細い道路を全体的に広げるだけではなく、見にくい場所を部分的に整びするなどの工夫も必要であると考えております。

以上でございます。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんが終わりました。

○１番（小幅脩太郎市議会議員）　ありがとうございました。府中市の安全についてとてもよくわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　以上で、小幅市議会議員の質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　次に、渋谷市議会議員の質問をきょかします。２番、渋谷佳奈市議会議員。

〔２番渋谷佳奈市議会議員登だん〕

○２番（渋谷佳奈市議会議員）　笑顔あふれるまちづくりのために、一ぱん質問を行います。

わたしは、笑顔あふれるまちのために笑顔チケットをつくってみるといいと思います。笑顔チケットは、自分が人に親切にできたり、うれしかったことを書きます。そして笑顔チケットを入れる箱（笑顔ボックス）を、学校、公園、お店などにせっ置します。そして笑顔チケットを１年間やってみます。１年間の終わりに学校やしせつの代表が笑顔ボックスを市役所に持っていきます。最も笑顔チケットのまい数が多かった学校やしせつを表しょうします。それから市の広告にのせます。わたしが考えている笑顔あふれるまちは、みんながいつも笑っていて、活気にあふれているまちです。ぜひ笑顔チケットを取り入れてみてください。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんをお願いします。加藤雅大議員。

○加藤雅大議員　それでは、渋谷佳奈議員のご質問の、笑顔チケットのどう入についてわたしからお答えいたします。

府中市では、これからの府中をどのようにつくっていくかの、その方向せいをえがいたまちづくりの進むべき方向をしめす総合計画を、市民みんなの力を合わせてつくっています。その総合計画の中では、府中をもっと住みやすく活気あるまちにしていくために、みんなで目指すまちのしょう来ぞうを決めています。そのしょう来ぞうは、みんなの思いを折りこんで「みんなで創る笑顔あふれる　住みよいまち」としております。市民みんなと市が一しょになって、まさにたくさんの笑顔があふれるまちにしていこうという目標となっています。

この総合計画は、今年度より新たにスタートするものとなっていますが、この計画をこれから進めていくに当たって、笑顔チケットをどう入し、１年間で最もまい数の多かった学校やしせつを表しょうする仕組みづくりについては、このまちのしょう来ぞうを実現するために、身近にできる取り組みの一つとしてとらえております。親切にできたことや、うれしかった気持ちを笑顔チケットとして形にしていくことは、笑顔をみんなで共有できることにもつながり、その気持ちが市全体に広がることで、自然と笑顔があふれ、みんなでよりよいまちをつくっていこうというもり上がりにつながるものと期待ができます。また、府中市においてもみんなの親切によって、住んでいて気持ちよく、明るく前向きになれるような、心からわき出す笑顔が大切であると考えていることから、この笑顔チケットがもたらす効果と、府中市が目指すまちのしょう来ぞうがまさに同じものであると感じております。

府中市では、まちづくりに関するさまざまな取り組みを進めていますが、笑顔チケットもそのさいの一つのアイデアとして参考とさせていただき、今後もみんなの笑顔あふれるようなまちづくりに取り組んでまいります。

以上でございます。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんが終わりました。

○２番（渋谷佳奈市議会議員）　ありがとうございました。しょう来のことや、笑顔あふれるまちづくりのためのことがよくわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　以上で、渋谷市議会議員の質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　次に、黒部市議会議員の質問をきょかします。

〔３番黒部英司市議会議員登だん〕

○３番（黒部英司市議会議員）　府中市の道路せつびについて質問します。

ぼくが住んでいるところは、府中駅から帰ってくるときにだんだん暗くなっていく気がします。冬の夜に、校庭の前を通って帰るときに、暗くてとてもこわかったです。でも、府中駅周辺は街灯がいっぱいあって明るかったです。また、もう一つ気になっているのは、武蔵野台駅から白糸台駅までなかなかたどり着けない人や、まよって地元の人に聞く人をいっぱい見かけます。でも、府中駅から府中本町駅に行くときは、なかなかたどり着けない人やまよっている人はあまり見かけません。ぼくが考えたところ、一つは目印になる建物がいっぱいあるからだと思います。あともう一つは、大きくて真っすぐな道や、夜になっても明るいまちだと思いました。でも武蔵野台駅から白糸台駅までは、夜は少しうす暗くて、道がせまくわかりにくいと思います。あと、車通りは多いのに、車道にせまい歩道だけの道が多いです。だけど府中駅周辺は歩道が大きくて、さらに歩行者や自転車せん用の通りがあります。

そこで質問です。どのような順番で道路の整びがされていくのですか。また、どうして街灯が府中駅の周辺ばかり集中してあるのですか。ご回答をお願いします。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんをお願いします。横田　実議員。

○横田　実議員　黒部英司議員の、府中市の道路整びについての質問にお答えいたします。

道路には、府中市外にも通ずる大きな道路と、住たく地を通るみな様の生活にみっ着した道路があります。大きな道路については計画的に整びを行っており、また、みな様の生活にみっ着した道路については、道路にふった雨水がたまるところや、車の通行により、そう音やしん動が発するところ、せまくて安全せいに課題のあるところを調さし、順番に整びを行っております。

次に、街灯は市民のみな様の安全な交通かんきょうをかくほするに必要なせつびだと考えております。街灯のせっ置については、周辺のじょうきょうや道路形たい、せっ置間かくなどのきじゅんにもとづき、道路の明るさをかくほし、安全せいの向上を目的とし、市民のみな様のご要望に配りょし、せっ置しております。また、街灯のせっ置に当たっては、周辺に住まわれている方

などが、明るくなることで生活かんきょうへの影響や、農家の方は農作物の成長にえいきょうがあることなども配りょしなければなりません。しかしながら、府中駅周辺は市の中心地で、買い物やお祭りなどのイベントのほかに、観光に来る方など、府中市民のみな様だけでなく、周りの市から多くの人も来られております。このことから、多くの人が集まる府中駅周辺については、安全に安心して買い物などができるように街灯を多く設置しております。

以上でございます。

○３番（黒部英司市議会議員）　ご回答ありがとうございました。道路せつびについてよくわかりました。

これで一ぱん質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　以上で、黒部市議会議員の質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　次に、島田市議会議員の質問をきょかします。６番、島田勝成市議会議員。

〔６番島田勝成市議会議員登だん〕

○６番（島田勝成市議会議員）　府中市のぼうさい対さくについて一ぱん質問を行います。

ぼくは、７階建てのマンションに住んでいます。マンションには、赤ちゃんからお年よりまで、たくさんの人が住んでいます。ぼくの父はマンションの役員になり、ぼうさいびちく品について毎月、話し合いをしています。もし、東日本大しんさいのような地しんが起きて、ぼくたち住民が大きなひ害を受けたとき、マンション全体としてどうしたらよいか、どのようなじゅんびが必要かについて、話し合いをしています。もちろん、自分の家でもぼうさい用品をじゅんびしておくことはとても大切なことですが、赤ちゃんやお年より、しょう害のある人など、さまざまな人たちがこまらないようにしていかなければならないと思います。また、自分の家にたくさんのぼうさい用品や大きな機械はじゅんびができません。

また、ぼうさい対さくは、ただぼうさい用品をそなえるだけではないと思います。ぼくの小学校では毎年、夏休みにぼうさいキャンプを行います。お父さんたちが中心になり、消ぼうやけい察の人たちに来てもらってぼうさい体験やぼうさいゲームをします。夕食は自分でつくり、仮せつぶろに入り、夜は自作のだんボールハウスにとまります。もしも大地しんが起こってひなんしなければならなくなったとき、このぼうさいキャンプのけい験がとても役に立つと思います。だから、このようなひなん所の生活をふだんからけい験しておくことが大切だと思います。３.11の大地しんのとき、府中市は大きなひ害はありませんでした。でも、これからいつ大きな地しんが起こるかわかりません。そこで、府中市はどのようなぼうさいへの取り組みを行っているのか、どのようなものがどれぐらいの人数分や日数分、そなえてあるのか、それはどこに置いてあるのか、また、ぼくたち市民が考えておかなければならないことはどのようなことなのか、質問します。ご回答、お願いします。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんをお願いします。臼井克寿議員。

○臼井克寿議員　大変、立ぱでそして重要なご質問、ありがとうございます。それでは第六小学校より選出されました島田勝成議員のご質問にお答えしたいと思います。

府中市のぼうさい対さくにつきましては、３.11東日本大しんさいのけい験を生かして、げんざいでは大変、多くのことを実ししておりますが、きょうは要点のみをお答えさせていただきたいと思います。

初めに、府中市のぼうさいへの取り組みについてですが、府中市では市民のみな様に、す早くかく実にさい害じょうほうをお伝えするため、ぼうさい行せい無線やメール配信サービスなど、さまざまなじょうほう伝達手だんを整びしています。また、大しんさいのゆれなどにより、ご自たくがこわれ、ひなん所で生活を送ることとなった方々のために、生活必じゅ品やさい害用し材などをびちくしています。そのほか、市民一人一人のぼうさいに関する意しきを向上させるため、地いき住民のぼうさい活動をしえんするほか、消火活動に必要となる消ぼう水利の整びなども行っています。

次に、どのようなものをどれくらい、どこに置いているかについてお答えいたします。主なものとしましては、アルファ米約25万5,000食、クラッカー約９万6,000食、毛布約４万まい、カーペット約３万2,000まい、組み立て式トイレ約160き、発電機約90台、にたきレンジ65組などをびちくしております。これらのほ管場所ですが、各小・中学校のしき地内にあるぼうさい倉庫などにほ管しております。

最後に、市民が考えておかなければいけないことについてお答えいたします。さい害の発生をふせぐことはできませんが、心がまえや事前のそなえなどにより、ひ害を少なくすることはできます。そのためには、まずさい害はいつ発生してもおかしくないということをしっかりと理かいしてください。その上で、大地しんなどによるさい害が発生したさいには、どこにひなん所があるのか、一体どういったきけんがあるのか、きけんをさけるためには何をどうそなえたらいいのか、連らくがつかないときはどうするかなど、日ごろから家族や地いきでよく考え、話し合い、万一のさい害のときでもあわてず落ちついて行動できるようにしていただきたいです。

以上です。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんが終わりました。

○６番（島田勝成市議会議員）　ありがとうございました。府中市の安全への方しんがよくわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　以上で、島田市議会議員の質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　次に、桑名市議会議員の質問をきょかします。７番、桑名　優市議会議員。

〔７番桑名　優市議会議員登だん〕

○７番（桑名　優市議会議員）　府中市の今後について一ぱん質問を行います。

ぼくは、本が好きでよく図書館を利用させてもらっています。前に、ぼくは読みたい本が近くの図書館になくて、残念な思いをしたことがあります。ほかの市の図書館でその本を読めたけい験があります。また、近くの図書館で予約した本が１カ月以上もとどかなかったこともありました。府中市にも中央図書館があるので、そこに行けばたくさんの本があるのは知っていますが、遠くてなかなか１人では行けません。できれば、読みたいと思った本がもっと早く読めるかんきょうがあれば便利だと思います。

そこでお聞きします。今後、図書館の利用方法がもっと便利になるかのうせいはあるのでしょうか。ご回答をお願いします。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんをお願いします。村崎啓二議員。

○村崎啓二議員　桑名　優市議会議員の、図書館の今後についてのご質問にお答えします。

本は、人間の英知の集まりですので、本好きの桑名さんはとてもすばらしいと思います。府中市には中央図書館と、12の地いき図書館があり、ぞう書数は約140万さつで、三多摩で２位のぞう書数です。本のリクエストはげんざい、全図書館でまど口および電話、インターネットで受け付けをしています。府中市立図書館のサイトからはいつでもぞう書のけんさくや予約もかのうです。

ご質問にあった、遠いということですけれど、本の取りよせについても中央図書館から遠い地いきに住む方にも便利なように、１日２回、全図書館を配送便で回っています。市の図書館にないし料は、都立図書館や他市の図書館からの取りよせもかのうです。予約が多いし料は順番にかし出しますので時間がかかりますけど、ちょっとお待ちください。これからも電子図書の所ぞうやかし出しなどのけんとうをふくめ、さらに使いやすい便利な図書館を目指してまいります。

わたしの個人的けい験では、長くさがした本を苦労して見つけたときの喜びも、また読書の喜びの一つだと思います。これからも図書館をどしどしご利用ください。

以上です。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんが終わりました。

○７番（桑名　優市議会議員）　ありがとうございました。図書館の今後についてのかのうせいがよくわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　以上で、桑名市議会議員の質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　次に、安齋市議会議員の質問をきょかします。８番、安齋穂乃佳市議会議員。

〔８番安齋穂乃佳市議会議員登だん〕

○８番（安齋穂乃佳市議会議員）　夏休みなど、宿題を教えてくれるしせつがほしいについて、一ぱん質問を行います。

わたしは、夏休みの宿題を教えてくれるしせつがほしいです。宿題のわからないところをボラ

ンティアさんなどに教えてもらえば、苦手がへり、学校のふく習テストで100点がねらいやすくなるからです。宿題と聞いただけでいやになる子もいると思うので、教えてもらえばやる気が出ると思うので、便利です。宿題のわからないものはずっとわからないままなので、教えてくれるとしたらじゅくに行くぐらいしかなくなってしまうので、あったらとても便利だと思います。じゅくに通うとお金もかかり、大変なので、お金もかからなく、宿題を教えてくれると夏休みの宿題をわすれたり、やらない子がへると思います。お家の方が仕事でいそがしい方もいると思うので、あったらいつでも質問できて、とても便利だと思います。こんなしせつをどうお考えですか。これからの子どもたちのためにもご回答ください。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんをお願いします。村崎啓二議員。

○村崎啓二議員　安齋穂乃佳市議会議員の、夏休みの宿題を教えてくれるしせつがほしいとのご質問にお答えします。

安齋さんは、さまざまなかんきょうにあるお友達のことも考える、心やさしい人だと思います。夏休みの宿題は、これまでに勉強したことをふく習したり、ふだんなかなかできない自由研究に取り組んだりするものです。この宿題は、みなさん一人一人が自分の力でできる内ようを課題としていますので、これまでに勉強したことをよく思い出してみたり、教科書を使ってのふく習をしてみてください。たんにんの先生が夏休み中に学校に来ている日を事前に聞いて、夏休み中に先生に質問することもできます。宿題を友達同士で進めたり、考えたりすることも、友達と一そう仲よくなれるきっかけとなるかもしれません。

また、府中市には図書館、府中市美術館、郷土の森博物館、生涯学習センター、ふるさと府中歴史館、熊野神社古墳展示館など、これからの子どもたちもふくめ、市民のだれもがゆたかにくらすことができるように、ほかの市にはない多くのしせつがあります。７月21日の広ほうふちゅうでもお知らせしていますが、これらのしせつではみな様の夏休み向けのき画も行っております。ぜひとも自由研究など、活用してください。わからないところはしっかり聞いて、自分の力で夏休みの宿題をやりとげ、勉強する楽しさを学んでください。

以上です。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんが終わりました。

○８番（安齋穂乃佳市議会議員）　ありがとうございました。夏休みなど、みずからしっかり宿題を取り組もうという気持ちを学ぶことができました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　以上で、安齋市議会議員の質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　次に、林市議会議員の質問をきょかします。９番、林　香那市議会議員。

〔９番林　香那市議会議員登だん〕

○９番（林　香那市議会議員）　府中市をきれいなまちにすることについての一ぱん質問。

わたしは、日曜日によくお出かけをします。主に府中のほうに行きます。そのときに平気でティッシュやガムのかすなどを道にすてている人がいて、気になりました。それも、子どもでやっている人もいたのですが、大人でもいました。多くが高校生ぐらいから上の年れいの方でした。このようなことをしているのに、その人を平気で無しをして、注意しない人が多く見られました。なぜ、子どもでも平気でやっているのでしょうか。わたしはすごく残念な気持ちでした。すごくきれいな府中のまちを、どうでもいい、あるいはどうせだれかが拾ってくれると思う気持ちがよくないと思いました。府中のまちをそんな軽い気持ちでよごすようなことをしてほしくないです。また、前まで物すごくきれいだった府中のまちを、その人はどのように思っているのか、聞いてみたいです。なぜ、まちを平気でよごせるのか、不思議です。

お聞きします。ごみやガムのかすなどを平気ですてているような人に対して、府中市ではどのような対さくをとっていくお考えでしょうか。ほかのまちでは、すいがらをすてたりごみをすてたりするとばっ金を取るじょう例があるまちもあるようです。今後のわたしたちの大事な府中のまちのためにも、ご回答をお願いします。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんをお願いします。西宮幸一議員。

○西宮幸一議員　林　香那市議会議員の質問にお答えします。

府中市では、きれいなまちづくりを進めるために、府中市まちの環境美化条例という決まりをつくりました。このじょう例により、府中駅や分倍河原駅など、市内の五つの駅の周りを特にポイすてをなくしていく、かんきょう美化すい進地区と決めています。そして、すい進地区の中に、たばこをすってはいけない道路を定め、かん板を立てたりパトロールを行うなどして、歩きたばこやポイすてをやめるようお願いしています。また、毎月20日を地いき安全・かんきょう美化の日とよび、府中駅の周りでたくさんの市民やお店のみなさんとともに、ポイすてをなくすようよびかけています。なお、環境美化条例では、ポイすてをした人からお金をとることができるようになっていますが、実さいにそうしたことはありません。ほかの市でもばっ金などをとった例はあまりないそうです。何かばつをあたえるのでなく、市民のみなさん一人一人のマナーをよくしていかないと、ポイすてのないきれいなまちは長続きしないのではないでしょうか。府中市をもっときれいにしたいという林議員の願が実げんするよう、みんなで協力し合うのが大切だと思います。

以上です。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんが終わりました。

○９番（林　香那市議会議員）　ありがとうございました。府中をきれいにするためにいろいろなことをしていることがよくわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　以上で、林市議会議員の質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　次に、高柳市議会議員の質問をきょかします。10番、高柳悠意

市議会議員。

〔10番高柳悠意市議会議員登だん〕

○10番（高柳悠意市議会議員）　府中市の安全についての一ぱん質問を行います。

最近、ぼくは学校からの不しん者じょうほうの手紙がひんぱんに来るように感じます。また、先日はん人がたいほされた、栃木県げん日光市の小学生ゆうかい殺人事けんなどのような事けんが、府中市で起こらないともかぎりません。また、公園など街灯がないところも少なくありません。また、学校の登下校のときに、できるだけ集団で帰るようにしていても、１人になってしまうところがあります。そのようなところはとてもきけんです。ほかのまちでは、公園や道にぼうはんカメラをとりつけているところもあるようです。府中市の安全についてのご回答、ご意見をうかがいたいです。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんをお願いします。西宮幸一議員。

○西宮幸一議員　高柳悠意市議会議員の質問にお答えします。

府中市では、市民のみなさんや大学の先生などと話し合い、いろんな対さくの進め方をまとめた第６次府中市総合計画をつくりました。その中では、市民の一人一人がぼうはんに取り組み、はんざいの少ない住みよいまちを目指すことを目標の一つとしています。そして、子どものみなさんの安全が守られるよう、不しん者じょうほうをす早くお知らせしたり、集団登校や集団下校を行ったりしています。また、学校やほご者のみなさん、府中けい察しょなどが協力し、通学路が安全に歩けるかどうか点けんしています。しかし、これから府中市をもっと安全なまちにするには、市民のみなさんの協力が欠かせません。例えば登下校のときに不しん者が出ないよう、市民の方々によるぼうはんパトロール活動を広めることが大切ではないでしょうか。それから、ぼうはんカメラははんざいを少なくするのに役立ちますが、まだ府中駅の周りなどにしかありません。高柳議員を初め、多くの市民のみなさんのご意見を参考に、まちを安全にする対さくにもっと力を入れるべきだと思います。

以上です。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんが終わりました。

○10番（高柳悠意市議会議員）　ありがとうございました。府中市のぼうはんについての取り組みがよくわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　以上で、高柳市議会議員の質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　次に、小泉市議会議員の質問をきょかします。11番、小泉百萌子市議会議員。

〔11番小泉百萌子市議会議員登だん〕

○11番（小泉百萌子市議会議員）　ごみの分別について。

わたしは、ごみの分別についていくつかぎ問を持っています。ほかの市に住んでいるおばあち

ゃんの家のごみの分別の仕方と、府中市のごみの分別の仕方はなぜちがうのかです。もう一つはプラスチックごみについてです。プラスチックせいのスプーンやストロー、また、プラスチックだけでできているおもちゃは、なぜプラスチックに入れてはいけないのでしょうか。プラスチックということは同じなのに、なぜちがうごみの種類になるのかと思いました。おばあちゃんの住んでいる市では、プラスチックは全て同じふくろに入れます。なぜ、府中市はよう器包そうプラスチックとげん定しているのですか。ご回答をお願いします。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんをお願いします。吉村文明議員。

○吉村文明議員　それでは、小泉百萌子市議会議員からいただきました、ごみの分別についてのご質問についてお答えをいたします。

ごみのしゅう集やしょ理の方法は、住んでいる市や区によってことなっていますので、それによって分別の方法もちがっています。府中市がよう器包そうプラスチックを回しゅうしている理由は、容器包装リサイクル法という法りつによって回しゅうをしているからです。これは、商品を入れるよう器と、商品を包む包そうのうち、プラマークがついているものはリサイクルができるものとして集めることができるというものです。そのほかの、せい品そのものがプラスチックでできているせい品プラスチックは、容器包装リサイクル法には当たらないため、もやさないごみとしてしゅう集しておりますが、府中市では四谷にあるリサイクルプラザでさらに細かく選別して、できるかぎり多くのしげん化に取り組んでおります。

府中市はげんざい、リサイクルりつ日本一を目指して取り組んでおります。よう器包そうプラスチックを回しゅうするピンクのふくろの中に、まだまだもやさないごみなどが入っているじょうきょうがあります。市民の一人一人がしゅう集ぶくろにごみを入れるときに、もう少し注意をすればリサイクルりつは向上していくのではないかと思います。みんなで力を合わせてリサイクルりつ日本一を目指してまいりましょう。

以上です。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんが終わりました。

○11番（小泉百萌子市議会議員）　ありがとうございました。ごみの分別についてよくわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　以上で、小泉市議会議員の質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　次に、塚田市議会議員の質問をきょかします。13番、塚田京佳市議会議員。

〔13番塚田京佳市議会議員登だん〕

○13番（塚田京佳市議会議員）　府中市の公園についての一ぱん質問を行います。

わたしは、休日によく父や妹と近所の公園で遊びます。たまに府中市内のいつもは行かないような公園をめぐるのですが、そのときに不思議に思ったことがあります。それは、府中市には公

園があるのに、にたような遊具しかないということです。どの公園の遊具も、学校にあるような遊具ばかりだと、遊具を使うわたしたちはだんだんあきてきてしまいます。最近、外で遊ぶ子どもたちがへってきているという話をよく聞きますが、公園にめずらしい遊具などがないのも理由の一つだと思います。できれば、テレビゲームなどよりも楽しいと思えるような遊具をつくってほしいです。

ほかに、時計がない公園があることも気になります。今、何時かなと思ったときに時計がないと、遠くまで行って時計を見ないといけないのでとても不便です。府中市の全ての公園に時計をつけてほしいと思っています。

そこで、府中市の公園についてお聞きします。今の府中市の公園にある遊具などについて、どうお考えですか。わたしたちが楽しく公園を使うためにも、ぜひご回答をお願いします。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんをお願いします。福田千夏議員。

○福田千夏議員　それでは、塚田京佳市議会議員の、府中市の公園についての質問についてお答えをさせていただきます。

府中市では、人々のさまざまなよか活動の場、いこいの場として約350カ所というたくさんの公園をきょう用しています。そして、これまで安全で利用しやすい公園を目指して整びをしてまいりました。じゅう来の遊具は、よう児や子どもの心と体を、遊びながら発育、発たつのぞう進を目的としてせっ置されてきました。しかし、ご指てきのとおりに、すな場にすべり台やブランコなど、どこに行っても同じだとあきてしまうかもしれません。近年、法りつの改正により、遊具をせっ置する考え方がかん和されたことから、古くなった遊具の交かんや、新しくせっ置するときには公園の大きさや利用のじょうきょう、近くの公園しせつのじょうきょうなどを見ながら整びを進めています。

子どもから高れい者の方まで全てのみなさんが利用しやすい公園にするために、地いきの方々の声を聞くなどして、みなさんからの人気の高いスプリング遊具や、健康づくりのための健康遊具などを取り入れています。また、比かく的大きな公園では、遊具の交かんに当たって、すべり台や運ていなどが一しょになった、ふく合遊具というものをどう入しています。例えば、本宿小学校の近くにある西府町公園に、昨年、ふく合遊具をせっ置しました。多くの子どもたちが楽しく利用していただいていることから、ほかの公園にもせっ置することを考えています。

次に、公園内の時計のせっ置についてですが、げんざい、比かく的大きな公園を中心に66きの時計がせっ置されています。また、地いきの利用じょうきょうやご要望などによって、新たに時計をせっ置するということ、またみなさんの遊び場のかくほとともに、安全で安心に利用してもらえるように取り組んでまいります。

以上です。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんが終わりました。

○13番（塚田京佳市議会議員）　ありがとうございました。わたしの家の近くでも、公園の遊具が少し新しくなって、おもしろくなってきたことがありますので、これからも遊具が楽しくなって

いくことをうれしく思っています。ありがとうございました。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　以上で、塚田市議会議員の質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　次に、西森市議会議員の質問をきょかします。12番、西森爽悟市議会議員。

〔12番西森爽悟市議会議員登だん〕

○12番（西森爽悟市議会議員）　みんながくらしやすいまちづくり。

日本では、お年よりがふえ続けているというニュースをよく耳にします。そのニュースでは、かく家族がふえ、高れい化が進み、お年よりがこどくに生活していると伝えていました。ぼくのマンションのとなりは老人ホームです。また、小学校の前は都えいだん地で、お年よりがこどくに生活されているのをよく見かけます。お年よりで足が不自由な人もいます。なので、お年よりで足が不自由な人のために、足が不自由な人が通れる通路をつくってほしいです。そうしたら、お年よりも安心して通れると思います。あと、目の不自由な人のために点字ブロックのある道をたくさんつくってほしいです。例えば学校の中にも点字ブロックがあったら、目の不自由な人でも学校でぼくたちと交流することができます。ほかには、動く歩道をけやき通りにつくってほしいです。そうしたら、お年よりでも楽に大國魂神社のお祭りに行けるからです。ぜひ、みんなが住みやすいまちづくりをもっと考えてほしいです。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんをお願いします。吉村文明議員。

○吉村文明議員　それでは、西森爽悟市議会議員からの、みんながくらしやすいまちづくりについてのご質問にお答えをいたします。

府中市は、お年よりや体が不自由な方々を初めとして、だれもが安全で安心に道路を通行できるように、歩道と車道の間のだん差を小さくするバリアフリー化整びを行っています。点字ブロックにつきましては、し力の不自由な方の道しるべとしてとても大切な役わりを果たしている一方で、点字表面のでこぼこによって、車いすやベビーカーなどの利用者にとっては通行しにくい面もあることから、全ての道路にせっ置をするのではなく、歩道と車道の境目など、きけんなところを中心にせっ置をしております。また、学校内での点字ブロックについては大変重要なものと思います。だれもが集える学校を目指して、府中市は改ちくや、福しの整び工事等のさいにせっ置できるように取り組んでまいります。

また、けやき並木通りには沿道にお店も多く、大ぜいの市民の方々が利用しています。動く歩道については、お年よりにとっては大変便利であると思います。これからますますお年よりがふえてまいります。これからほかの市などの事例を調べた上で、だれもが安全・安心に利用できるしせつとして課題などをかい決していきたいと思っております。

以上です。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　答べんが終わりました。

○12番（西森爽悟市議会議員）　ありがとうございました。点字ブロックは、ベビーカーの人にめ

いわくになるということがわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　以上で、西森市議会議員の質問を終わります。

○議長（浅岡ひいろ市議会議員）　ここで、10分てい度休けいいたします。

午後３時13分　休けい

◇

〔議長退席・副議長着席〕

午後３時20分　開議

○副議長（西本　葵市議会議員）　休けい前に引き続き議事をさい開します。

議長のしょくむを代行しますので、よろしくお願いします。

○副議長（西本　葵市議会議員）　一ぱん質問を続けます。西江市議会議員の質問をきょかします。

14番、西江　類市議会議員。

〔14番西江　類市議会議員登だん〕

○14番（西江　類市議会議員）　府中市の緑化管理について一ぱん質問を行います。

府中市は大変、緑の多いまちです。府中市のシンボルでもあるけやき並木を初め、府中の森公園、郷土の森公園には多種多様なじゅ木が存在します。そんな光景に府中市民みんながいやされているのだと思います。そうだと信じていますが、先日、次のような事こが起きたことを知り、ぼくのじゅ木に対する見方が変わりました。2014年３月16日、広島県三原市の市芸術文化センターのしき地内で、とつ然、高さ15メートルの木がたおれて歩行者に当たりました。歩行者は50さいの女せいで、意しき不明の重体になり、４日後、なくなったそうです。また、その１カ月後の４月14日、川崎市の商業しせつ内にある街路じゅのえだが落下し、歩いていたようち園児の頭部に直げきしました。落下したえだの重さは約20キロもあったそうです。三原市の木はポプラの木で、根やみきの一部がくさっていたそうです。川崎市の木はケヤキで、えだの折れ口がかれたようなじょうたいだったそうです。

ぼくは、この二つの事こを聞いて、ふ通に道を歩いているだけで命を落としてしまったり、重しょうを負ったりすることがとてもこわくなりました。そこで、府中市の緑化管理についておたずねします。府中市が管理しているじゅ木の数はどのくらいあるのでしょうか。定期的に点けんなど、行われているのでしょうか。また、この事こ後に何か対おうはとられたのでしょうか。ぼくたちが安心して公園で遊べるよう、安全に学校の登下校ができるようによろしくお願いいたします。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんをお願いします。福田千夏議員。

○福田千夏議員　それでは、西江　類市議会議員の、府中市の緑化管理についての質問にお答えいたします。

府中市は、緑の基本計画をつくり、「水と緑が輝く　潤いのあるまち　府中」を目指しています。その中で、緑をふやす取り組みとして、てき切な管理に努めています。府中市が管理しているじゅ木の総数は９万7,000本で、そのうち道路に１万700本、公園には８万6,300本もあります。また、定期的な点けんなど、じゅ木の管理については市のしょく員によるパトロールのほか、地いきの方々の見守りなどを実ししています。さらに、台風や大雪など予想されるさいや、他市で事こなどがあったさいには、きん急点けんも実ししています。特に、けやき並木や桜通りは、古い木や大きな木が多いことから、市のしょく員と木のせん門家が協力をして、じゅ木のえだのせん定などを実ししています。さらに、三原市等での事こを教訓に、市や市民、事業者の協力により、公園のじゅ木、街路じゅを点けんし、えだがれなどの発見に努めるなど、市民の安全かくほのために努めています。

一例ではありますが、昨年６月に三好町公園のソメイヨシノが根ぐされによりとう木をしました。ソメイヨシノは成長が早く、花もきれいな反面、害虫や病気に弱いことから、日ごろより点けんなど、パトロールをしていますが、今回のとう木は目に見えないふ食によるものでした。そこで、げんざいではしょく員のパトロールにおいて、きのこ類のはんしょくじょうきょうやふ食などを点けんし、きけんとはんだんした場合には、周囲にお知らせした上でばっさいを行っています。西江議員の要望にあったように、みなが安心して公園で遊べるように、安全に学校の登下校ができるように努めてまいります。

以上です。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんが終わりました。

○14番（西江　類市議会議員）　ありがとうございました。お話を聞いて、安心して公園で遊べるようになりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　以上で、西江市議会議員の質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　次に、石田市議会議員の質問をきょかします。15番、石田智治市議会議員。

〔15番石田智治市議会議員登だん〕

○15番（石田智治市議会議員）　夜の安全について。夜、じゅくの帰り道を通っているときに、とても暗いところがあり、ほかの人にぶつかりそうになり、あぶないと思いました。そこに明かりはありませんが、明かりをつけるゆう先順位はどのように決めているのかとともに、府中市の夜の安全かくほはどのようにしているのかを教えてください。また、電灯があたりの道を大体、教えてくれていて楽に歩けますが、電気が切れてくると見えづらくなります。そのため、遊んで帰る時間に電灯が明るくないと見えづらくなってしまいます。電灯が暗くなるのが少ないように、

ＬＥＤ電球を使用するなど対さくをとっているのかどうかを教えてください。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんをお願いします。服部ひとみ議員。

○服部ひとみ議員　石田智治市議会議員の、夜の安全についての質問にお答えします。

夜、暗いところでぶつかりそうになったとのこと、あぶないですね。事こや不しん者の出ぼつなど、心配な場所です。それほど暗ければ街灯が必要でしょう。調さをしますので、後ほどどこなのか教えてください。市では、街灯は市民のみな様の夜の安全な交通かんきょうをかくほするためのせつびと考えています。そこで、明かりをつけるゆう先順位ですが、周辺のじょうきょうや道路の形たい、せっ置間かくなどのきじゅん、道路の明るさをかくほし、安全せいの向上、みな様のご要望など、これらを総合的に考えてせっ置する順位を決めています。

また、街灯の設置に当たっては、周辺が明るくなることでの住民のみな様へのえいきょう、農作物に対しては成長へのえいきょうなども配りょしなければなりません。げんざい、市内には約１万7,000きの街灯がせっ置されています。明かりが切れているときはしょく員がパトロールしておりますが、市民のみな様からもご連らくをいただき、電球の交かん、修理など、じん速に対おうしています。市役所にお知らせください。また、街灯がなくきけんなところがありましたら、お近くの市議会議員にもご連らくをお願いしたいと思います。

最後に、ＬＥＤについて対さくはとのご質問ですが、ＬＥＤ電球はこれまでの電灯に比べ長持ちし、省エネであるため、げんざいは交通安全対さくとして実けん的に取り組みを進めています。

以上でございます。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんが終わりました。

○15番（石田智治市議会議員）　ありがとうございました。夜の安全等についていろいろ説明をしていただき、ありがとうございます。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　以上で、石田市議会議員の質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　次に、池田市議会議員の質問をきょかします。16番、池田伊織市議会議員。

〔16番池田伊織市議会議員登だん〕

○16番（池田伊織市議会議員）　府中市のお祭りについて。

府中市のお祭りについて一ぱん質問を行います。府中市のお祭りは、思いうかぶものでもくらやみ祭、とりの市、梅まつりなどがあります。調べてみると、くり祭、すもも祭などもあるようです。特にくらやみ祭は有名です。時期になると友達と、くらやみ祭、何日に行くなどという会話をしているところも耳にします。くらやみ祭は毎年、たくさんの人がおとずれます。同じ場で、知らない人とでも同じ時間をすごせるのはお祭りのみ力だと思います。そこで、お祭りと府中市のかかわりについてお聞きします。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんをお願いします。服部ひとみ議員。

○服部ひとみ議員　池田伊織市議会議員の質問にお答えします。

お祭りと府中市のかかわりについてのおたずねがありました。ご質問にありましたように、夏のすもも祭を初め、大國魂神社は１年を通して季節のお祭りや、とりの市などでにぎわいます。中でも毎年５月に行われるくらやみ祭は、例年多くの方がおこしになり、今年度、昨年度とも75万人、その前年度の70万人と比べても、来ほう者も年々多くなっています。くらやみ祭の起げんは古代と言われ、おだやかな国土と五こくほうじょうを願い、始まったそうです。長い年月がたち、くらやみ祭と名前を変えたのは、まちの明かりを全て消した深夜に行われたからでした。６はりの大だいこと、８きのみこしが行き交う勇そうさは見事なものですが、最大の大だいこは２メートルもあり、日本一の大きさをほこっています。

このように府中市には、由しょあるお祭りを初め、けやき並木や多摩川などの自然かんきょうや歴史的な名所きゅうせき、長い歴史と伝とうにつちかわれた行事など、多くの観光しげんがあります。こうした観光しげんであるお祭りを活用し、府中観光協会とも連けいを図りながら、お祭り開さい時での観光じょうほうコーナーのせっ置、ほかのイベントのときにもＰＲやキャンペーンなど、広くじょうほう発信を行い、おこしいただいた方に府中市の観光しげんや特産品などのみ力をＰＲして、地いきの活せい化につながるよう、取り組んでおります。同じ場で知らない人とでも同じ時間をすごせるお祭りの力と、ご指てきがありました。人が集うコミュニケーションにより、こうした力が温かいまちづくりにつながることが期待されます。

以上でございます。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんが終わりました。

○16番（池田伊織市議会議員）　ありがとうございました。府中市のお祭りについてがよくわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　以上で、池田市議会議員の質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　次に、田中市議会議員の質問をきょかします。17番、田中海希市議会議員。

〔17番田中海希市議会議員登だん〕

○17番（田中海希市議会議員）　みんなが楽しく遊べる場所について。

ぼくの家の前には公園があります。そこの公園には屋根があるから、雨がふっているときでも遊べて便利です。だから人が多く集まります。多いときには学年別で30人ぐらいいるときもあります。小学生以下の子も来ていて、きけんだと思うこともあります。サッカーや野球、ドッチボールをやったり、おにごっこを遊具でやっていて、小さい子がいてぶつかったり、落ちたり、けがをしてしまう子がいるかもしれないので、目的別の公園を決めて野球やサッカー、ドッチボールの公園にはフェンスをつけて遊びやすくしたほうがいいと思います。放課後にぼくの学校はサッカーができるけど、野球はできないので、野球やサッカーを思い切りできる公園があって、小

学生以下の子たちの公園もできるといいと思います。また、しば生の学校とかは、サッカーができないかもしれないので、思い切り遊べる公園があったらいいと思います。また、公園に犬のふんが落ちているときもあるので、犬用の公園ができたらみんなが楽しく遊べる場所ができるんじゃないかと思います。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんをお願いします。田村智恵美議員。

○田村智恵美議員　それでは、田中海希市議会議員の、みんなが楽しく遊べる場所についてのご質問について、お答えいたします。

市は、周りのかんきょうを考えながら小学生以下のお子様が遊べる、よう児公園や児童公園、そしてボール遊びや高れい者の方々が利用できる広場など、さまざまな公園をつくっています。サッカーや野球ができるような大きな運動場として遊べる公園は、数がかぎられていますが、小柳小学校の近くには小柳公園内の運動広場、押立町西公園のしば生広場、そして押立公園の広場があり、ほかの地いきよりも大きな公園が集まっていると思います。

広場のある公園では、ボール遊びができるようにネットフェンスをつけたり、近りんにボールが出ていかないような工夫もしているところもあります。ご質問にありました、田中議員の近くの公園は鶴代公園でしょうか。この公園で小さなお子様たちが遊んでいることについて、ご心配するやさしい気持ちがあれば、思いやりを持ってほかの人たちも、だれもが利用することができるようになると、楽しく遊べる場所になると思います。そのためのルールづくりをするなど、地いきや学校で、てい案するのもいいのではないでしょうか。

次に、公園に落ちている犬のふんのことですが、公園を使うマナーとしては、犬のふんはかい主の方が持ち帰っていただくことが大事だと思いますが、市としても注意をするためのかん板を立てております。そして、マナー向上にも努めております。犬用の公園については、犬の鳴き声、そしてにおいなど、周りのかんきょうに大きくえいきょうすることから、府中市内でつくるのはむずかしいじょうきょうです。大きな面積を持つ東京都の公園内に、犬を遊ばせることができる、せん用のドッグランというしせつがあります。しせつの広さは1,000平方メートルをこえるものになっています。ドッグランを利用したいという相談がある場合は、近くの都立公園としての小金井公園、そして桜ヶ丘の公園をしょうかいしております。

以上です。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんが終わりました。

○17番（田中海希市議会議員）　犬の公園は府中市にできたりはしないけど、サッカーとか野球を遊びやすいためにフェンスとかをつくったりする工夫とかがあるのがわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　以上で、田中市議会議員の質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　次に、森市議会議員の質問をきょかします。18番、森　悠衣花市議会議員。

〔18番森　悠衣花市議会議員登だん〕

○18番（森　悠衣花市議会議員）　府中市のさい害への対さくについて一ぱん質問を行います。

わたしの家では、地しんにそなえて家具を固定したり、ひじょう食や飲料水などを用意したりしています。調べてみると府中市の近くには、立川だんそうがあることがわかりました。また、最近いろいろなところでたくさん地しんが起きていたりしているので、いつこのあたりでも大きな地しんが起きるか、とても心配になります。

そこで、府中市のさい害に対するそなえについてお聞きしたいと思います。府中市では地しんなどのさい害について、どのような対さくをしていますか。また、地しんなどが起きたさいに利用するひなん所には、何人ぐらいの人が何日ぐらいひなんすることができますか。ご回答をお願いします。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんをお願いします。田村智恵美議員。

○田村智恵美議員　それでは森　悠衣花市議会議員の、府中市のさい害への対さくについてのご質問についてお答えいたします。

府中市では、東日本大しんさいの教訓をふまえ、府中市の地域防災計画というのをつくり直しました。見直した計画ではひ害想定として、建物がこわれたりするのが約1,560とう、ひなん者の想定としては約４万人の方がひなんされるとしております。みなさんの命や体、そしてざい産を守るために、予ぼうやおう急対おう、復きゅうなどができる体せいを府中市はつくっております。平成24年度から市内３カ所で市民参加・体験がたの訓練として、総合ぼうさい訓練を行っています。車でゆれる地しん体験ができる起しん車や、消火活動、おう急手当て、ひなん所の体けん、そして仮せつトイレのてんじなどを行い、多くの方々に参加していただいております。ことしは10月26日、五小、二中、浅間中学校で行う予定にしています。

ご質問の中で、ご自分の家でゆれが来て、家具が転とうしないように固定したり、ひじょう食や飲料水を用意されているとのことです。日ごろからのそなえはとても大事なことで、市としても広く市民の方々に広めていきたいと考えております。

げんざい、地しんが起きたときのひなん所は、市内の小・中学校と総合体育館、そして文化センターなど、合わせて47カ所あります。それらにひなんできる最大の人数としては、約５万6,500人、しかし長期間ひなんすることになると、3.3平方メートルに２人というきじゅんがありまして、先ほどの人数の約半分の２万8,250人ということになります。また、市は最初に言いましたひ害想定、ひなん者の数が約４万人とのことですが、約４万人の３日分に当たる食料、約35万食の食料をそなえております。自たくがこわれたりしていない場合は自たくですごしていただくことになりますが、さい害が起きてから72時間、約３日間は救助や救出に市としては全力をつくすことになりますので、日ごろのそなえとしてご自たくでも３日分の食料を用意していただいておければと思います。また、さい害に対する不安、できるだけわたしたちもへらすために、これからも地しんなどに関する正しい知しきや考えを市民のみな様にお伝えしていきたいと思っております。

以上です。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんが終わりました。

○18番（森　悠衣花市議会議員）　ありがとうございました。府中市のさい害への対さくがよくわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　以上で、森市議会議員の質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　次に、廣瀬市議会議員の質問をきょかします。19番、廣瀬愛奈市議会議員。

〔19番廣瀬愛奈市議会議員登だん〕

○19番（廣瀬愛奈市議会議員）　わたしは、つねに一人でも多くの府中市民の方々に笑顔でいてほしいと思っています。そのためにどのようなことをすればいいのか、何ができるのかを考えました。その結果、いくつかの案がうかびました。１、ルールを守る、２、おたがいを助け合う、３、知らない人へのあいさつ。例を挙げると、例えば公共の場でのたい度や、バス内でお年よりの方に席をゆずる、毎朝通る道で近所の方にあいさつをするなど、このような身近なくらしの中で、やさしさと感しゃの気持ちを忘れなければ、わたしたちの住むまちを今まで以上に笑顔あふれるすてきなまちにしていけるのではないでしょうか。

そこで、府中市民の笑顔についてお聞きします。わたしは、府中市民の笑顔についてこのように考えていますが、府中市の方々はこのことについてどうお考えですか。60周年ということもあり、今後、笑いの絶えない府中市にしていきたいと思います。ご回答お願いします。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんをお願いします。浅田多津子議員。

○浅田多津子議員　廣瀬愛奈市議会議員から、府中市の笑顔についてのご質問について、ただいまよりお答えいたします。

一人でも多くの市民の方々に笑顔でくらしていただくことは、市民のみな様の幸せをふやすために活動しておりますわたしたち市の役わりとして、とても大切なことだと思っております。大変多くのご意見をいただきました。市には、これからどんなまちをつくっていくのか、その方しんをまとめた第６次総合計画があります。その中で市民のみな様と市が一しょになって目指すまちの姿を、「みんなで創る　笑顔あふれる　住みよいまち」と決めております。まさに笑顔の府中の実げんを、大きな目標としております。この目標を達成するためには、ごてい案していただいたようにルールを守ることはもちろんですが、ふだんからあいさつを交わして必要なときには助け合えるような、ご近所同士のつながりが大切だと考えております。

そこで、市ではこのような地いきのつながりが深まるようにと、文化センター活動や自治会へのしえんも行っております。市民の方々には、まずはあいさつから始めて、気軽に話せるご近所の方々をふやしていただき、地いきでのイベント等にも参加していただき、こまったときにはおたがいに助け合える関係をつくっていただくことが、目標にかかげた笑顔の府中を実げんするこ

とにつながると考えております。そのために、市民のみな様と一しょになって活動していくことを、今後も目指しております。

以上です。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんが終わりました。

○19番（廣瀬愛奈市議会議員）　ありがとうございました。府中市の方々が、府中市民の笑顔についてどう考えているかよくわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　以上で、廣瀬市議会議員の質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　次に、市川市議会議員の質問をきょかします。20番、市川穂積市議会議員。

〔20番市川穂積市議会議員登だん〕

○20番（市川穂積市議会議員）　畑や田んぼがなくなってきて、家がふえてきている府中市のかんきょうについて、一ぱん質問を行います。

ぼくはこのごろ、この間まで畑があったところが家になっていたりして、畑がだんだんなくなってきている光景をよく目にします。ぼくはその光景を見て、畑や田んぼより家やアパートのほうが多いんじゃないのかなと思いました。畑や田んぼがなくなってくると、ザリガニや虫などの生き物が少なくなり、生き物を採ったりする機会が少なくなると思います。畑や田んぼがなくなると、府中市のゆたかな自然かんきょうがだんだんへってくると思います。だから、少しでも畑や田んぼを残してほしいと思います。

ぼくたちの後の未来のためにも、ぜひ回答をお願いします。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんをお願いします。浅田多津子議員。

○浅田多津子議員　市川穂積市議会議員の、畑や田んぼがなくなってきて、家がふえてきていることについてのご質問にお答えをいたします。

府中市は、ゆたかな市民生活をささえる府中農業の実げんを目指しております。そして、50年先にも府中市に農地、農業を残すことを目的として、府中市農業振興計画をさく定しています。市では、そのために農家が手伝いを必要とする場合のボランティアぼ集や、農地のみ力や効用を市民にＰＲするなど、さまざまな事業を行い、府中の農業のよさを伝える努力をしております。学校の授業の中でも、農業体験を取り入れたり、学校給食に府中産の野菜や果物を食材として使ったメニューをていきょうしております。10年前にさく定された府中市農業振興計画では、平成26年までに残す農地面積の目標を130万平方メートルにせっ定しておりましたが、実さいは約20万平方メートル多い、約150万平方メートルの農地を残すことができました。しかし、課題もあります。府中市のような都市農業においては、農地のすぐとなりに住たくがあるため、そう音や砂ぼこり等の問題、日かげや風が通らなくなったことなど、作物の成育に影響が出るなど、農業を続けていくことがむずかしいじょうけんもあります。また、農地を持っている農業者がなくな

るなどで、相続税をおさめるため、やむなく農地を手ばなす農家もあり、農地がげん少けい向にあるのは事実でございます。

この５年間で約５万7,000平方メートルの農地がへっており、これは四谷小学校の校庭の約５倍の面積になっております。市としてはより一そう、農業関連事業のじゅう実を図っていきます。その活動の積み重ねが、しょう来に農地、農業を残すことになると考えております。

以上です。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんが終わりました。

○20番（市川穂積市議会議員）　ありがとうございました。府中産の野菜などをＰＲしたりしていることがよくわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　以上で、市川市議会議員の質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　次に、大宅市議会議員の質問をきょかします。21番、大宅優志市議会議員。

〔21番大宅優志市議会議員登だん〕

○21番（大宅優志市議会議員）　府中市のよりよいまちづくりについての一ぱん質問を行います。

みんなにとってくらしやすいまちが理想のまちだと思います。府中市がそんなまちになったらいいなと思います。ぼくが考えるみんなにとって住みよいまちは、子どもからお年よりまでみんなが一しょに楽しくくらせるまちです。府中市では、文化センターまつりやコミ協運動会など、みんなで楽しめるイベントがあり、とてもうれしいです。

ここで質問ですが、文化センターなど近所でこま回し、しょうぎなど、お年よりと一しょに遊んだり、昔の遊びを教えてもらえるような機会をふやす予定がありますか。例えばぼくはしょうぎが好きで、お年よりと一しょにしょうぎを指したいと思って、文化センターに行って聞いたのですが、小学生とお年よりが一しょにしょうぎをすることをやっていないと言われました。とても残念でした。子どもからお年よりまでがいろんな場所で楽しめる、みんなにとって住みよいまちづくりのためにも、今後どのように考えていらっしゃるのか、ご回答をお願いします。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんをお願いします。桑島耕太郎議員。

○桑島耕太郎議員　それでは、大宅優志市議会議員からの、文化センターなど近所でこま回し、しょうぎなど、お年よりと一しょに遊んだり、昔の遊びを教えてもらえるような機会をふやす予定はありますかのご質問にお答えします。

府中市内の各文化センターには、児童に健全な遊びをていきょうし、健康ぞう進やじょうそうをゆたかにすることを目的とする児童館と、お年よりのみな様にいこいの場所をていきょうし、コミュニケーションを図ることを目的とする高れい者福祉館があります。議員ご指てきのとおり、今げんざい、それぞれせっ置している目的と利用できる年れいがことなりますので、小学生とお年よりのみな様が一しょに活動する場合には、クラブやサークルをつくり、会議室などを予約し

てご利用いただいております。これまでも各文化センターでは、年れいにかかわらず大ぜいで一しょに、気楽に気軽に楽しめる地いきまつり、ちびっこ交流会、レクリエーション大会など、たくさんの楽しいイベントを実ししており、世代をこえた交流が図られています。議員が大好きなしょうぎを初め、昔遊びをふくめて今後も地いきの方々のご意見をうかがいながら、引き続きコミュニティ行事の内容のじゅう実に努めてまいります。

以上です。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんが終わりました。

○21番（大宅優志市議会議員）　ありがとうございました。府中市のよりよいまちづくりについて説明していただき、よくわかりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　以上で、大宅市議会議員の質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　次に、中島市議会議員の質問をきょかします。22番、中島愛海市議会議員。

〔22番中島愛海市議会議員登だん〕

○22番（中島愛海市議会議員）　府中市のイベントについて一ぱん質問を行います。

わたしは、ほかの小・中学校やようち園の子とふれ合えるイベントが、もっとあるといいと思います。今はすもう大会、サマーフェスティバル、お祭り、コミ協運動会などがあります。しかし、わたしはてんらん会などもあると、もっと府中市がよくなると思います。ほかの地いきの子と交流して、みんなで府中市をもり上げていけるといいです。このことをどうお考えになっているのか、ぜひご回答をお願いします。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんをお願いします。桑島耕太郎議員。

○桑島耕太郎議員　それでは、中島愛海市議会議員からの、ほかの小・中学校やようち園の子とふれ合えるイベントがより多く開さいされるといいと思うについて、お答えいたします。

初めに、市民のみな様に親しまれています文化センターは、しせつを中心におおよそ４平方キロメートルという広いはん囲のみな様にご利用され、さまざまなふれ合い事業を実ししております。このため、各文化センターで行っている児童館サークルやコミュニティ事業は、学校ごとのかき根をこえたたくさんの子どもたちが対象となっています。そして、例えば毎年２月に全ての文化センターの児童サークルが一堂に会し、日ごろの活動成果を発表する、ちびっこふれ合い文化祭を開さいし、その中で子どもたちが一生けん命につくった作品のてんじなども行っております。

今後につきましても、府中市をより一そうもり上げるように、地いきの子どもたちのふれ合いや交流を、さまざまなイベントを通じてそく進してまいります。

以上です。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんが終わりました。

○22番（中島愛海市議会議員）　ありがとうございました。府中市のイベントについてよく知れたので、勉強になりました。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　以上で、中島市議会議員の質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　次に、浅岡市議会議員の質問をきょかします。４番、浅岡ひいろ市議会議員。

〔４番浅岡ひいろ市議会議員登だん〕

○４番（浅岡ひいろ市議会議員）　府中市の自然と子どもたちのかんきょうについてお聞きします。

府中市はケヤキを大切にしていますが、ケヤキの木を見てみると、コンクリートに囲まれていて、自然のかんきょうとはちがっていて、かわいそうに思います。これでは元気に育てないと思うので、人間が住みよいということだけでなく、自然のことも考えたまちづくりをしたらいいと思います。わたしたち子どもも、コンクリートの上より土の上で遊んだほうが楽しいし、元気になります。そして、木や草花や子どもたちが元気に育っていると、府中市に住んでいる人たちや、府中市で働く人たちにもおだやかな気持ちになったり、元気が出たりすると思います。

今後、府中市の自然を大切にしながら、人々が元気になれるようなまちづくりをしていくには、どうしたらいいとお考えですか、ご回答をお願いします。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんをお願いします。横田　実議員。

○横田　実議員　浅岡ひいろ議員の、府中市の自然と子どもたちのかんきょうについての質問にお答えいたします。

府中市では、市民と市がともに目指す都市ぞうを「みんなで創る　笑顔あふれる　住みよいまち～みどり・文化・にぎわいのある洗練された都市を目指して～」とした、第６次府中市総合計画をさく定しております。この都市ぞうを実げんするために、市民と市が力を合わせた協働でまちづくりをてん開していくことにしています。そして、わたしたちのくらしは身近にある多摩川や浅間山、けやき並木などの自然や、さまざまな生き物が生息する中で、それらがもたらす恵みを受けることによって成り立ってきましたが、近年、開発等の人間活動による生たい系の破かいや、生物種のげん少、人間によって持ち込まれた外来種による生たい系の変化が進行しており、ゆたかであるはずの自然が失われつつあります。

これらのことから、自然かんきょうや生たい系のげんじょうをはあくし、生き物の生息・成育空間となる身近な緑地や水辺等をほ全する活動、絶めつのおそれのある種のほごおよび生たい系をこわすおそれのある外来種のくじょなど、地いきの特せいにおうじた生物多様せいのほ全に関する実せん的な取り組みも実しする中で、市民の生活においてうるおいを与えるゆたかな自然を、次世代に残していくためのまちづくりに取り組む必要があると思います。

今後の府中市の自然を大切にしながら、人々が元気になれるまちづくりの考えですが、まずは市民一人一人が、自然や生たい系のほごについての知しきを深め、それらを守るためにできるこ

とを考えて、行動していただくことが重要と考えております。そのために市としては、人と自然とのゆたかな関係をよいじょうたいにもどすため、市民の自然に関する意しきのけい発や、それらとふれ合う機会をていきょうすることにより、市民の自然かんきょうを大切にする意しきを高めていきたいと考えております。

以上です。

○副議長（西本　葵市議会議員）　答べんが終わりました。

○４番（浅岡ひいろ市議会議員）　ありがとうございました。未来の子どもたちのためにも人や自然にやさしい府中市をつくり続けてください。

以上で一ぱん質問を終わります。

○副議長（西本　葵市議会議員）　以上で、浅岡市議会議員の質問を終わります。

以上で一ぱん質問を終わります。

――――――――――――――――　◇　――――――――――――――――

３．子ども議員てい出議案　府中市がみんなで創る、笑顔あふれる、住みよいまちとなることを目指す決議

○副議長（西本　葵市議会議員）　次に、日てい第３子ども市議会議員てい出議案府中市がみんなで創る、笑顔あふれる、住みよいまちとなることを目指す決議を議題とし、しゅし説明とてい案説明を代表者に求めます。１番、小幅脩太郎市議会議員、２番、渋谷佳奈市議会議員、10番、高柳悠意市議会議員。

〔代表者登だん〕

○１番（小幅脩太郎市議会議員）　わたしたちは、７月30日に事前会議を行い、その中で、みんなで創るまち特別委員会、笑顔あふれるまち特別委員会、住みよいまち特別委員会の三つの委員会に分かれて、府中市の未来について話し合いをしました。みんなを代表し、３人の委員長でわたしたちの思いを決議として発表します。

○２番（渋谷佳奈市議会議員）　子どもてい出議案　府中市がみんなで創る、笑顔あふれる、住みよいまちとなることを目指す決議　上記の議案をてい出する。　平成26年８月５日　てい出者　府中市子ども市議会議員　小幅脩太郎　渋谷佳奈　黒部英司　浅岡ひいろ　西本　葵　島田勝成　桑名　優　安齋穂乃佳　林　香那　高柳悠意　小泉百萌子　西森爽悟　塚田京佳　西江　類　石田智治　池田伊織　田中海希　森　悠衣花　廣瀬愛奈　市川穂積　大宅優志　中島愛海。

○10番（高柳悠意市議会議員）　わたしたち、府中の子どもたちは、府中市が誕生して60年を迎えたこの年を機に、未来に向かってこのまちが、みんなで創る、笑顔あふれる、住みよいまちであり続けることを目指し、次のことを決議します。

○１番（小幅脩太郎市議会議員）　わたしたちは、府中市に住むみんな、府中を訪れる人、未来の

子どもたちが、安全で楽しく自然で遊べるために、駅周辺の整備も含め豊かな環境を守るイベントをふやし、話し合います。

○２番（渋谷佳奈市議会議員）　わたしたちは、未来に向かって、府中市に住んでいる人や体の不自由な人が、安全に暮らせて、笑顔あふれるように、話し合いをします。

○10番（高柳悠意市議会議員）　わたしたちは、府中市に住むすべての人たちが、毎日、安心して笑顔で暮らせるまちにするために、一人一人が協力し、助け合えるまちにしていきます。

○１番（小幅脩太郎市議会議員）　みんなで創るまち特別委員会委員長、小幅脩太郎。

○２番（渋谷佳奈市議会議員）　笑顔あふれるまち特別委員会委員長、渋谷佳奈。

○10番（高柳悠意市議会議員）　住みよいまち特別委員会委員長、高柳悠意。

○副議長（西本　葵市議会議員）　代表者のみなさんは、自席におもどりください。

〔代表者こうだん〕

○副議長（西本　葵市議会議員）　これよりさい決に入ります。さい決は起立で行います。

おはかりします。本案にさん成の方の起立を求めます。

〔さん成者起立〕

○副議長（西本　葵市議会議員）　起立者全員です。よって、本案は全会一ちでか決されました。

（はく手）

ご着席願います。

以上で本日の日ていは全て終りょうしました。

――――――――――――――――　◇　――――――――――――――――

○副議長（西本　葵市議会議員）　へい会に先立ち、高野律雄市長からこうひょうをいただきたいと思います。高野市長、お願いします。

〔高野律雄市長登だん〕

○高野律雄市長　ただいまごしょうかいをいただきました、府中市長の高野律雄でございます。

府中市せいし行60周年を記念して開さいされました子ども市議会のへい会に当たり、こうひょうとしてごあいさつを申し上げます。

まずは、府中市子ども市議会議員のみなさん、本日は大変おつかれさまでございました。大人議員による定例市議会本会議と同様に、きんちょう感に満ちたすばらしい会議だったと思います。すでに何度もふれられているとおり、府中市は60周年という大きな節目の年をむかえていて、「ともに未来へ　笑顔あふれる　わがまち府中」というすてきなキャッチコピーを市民の方からいただき、さまざまな記念事業を実ししております。

きょうの子ども市議会も、未来をになう府中の子どもたちに市議会や市の仕事について体験してもらいたいとの思いから、市議会議員みなさんのご発案により開さいされたものであります。

昭和29年４月１日、府中市は当時の府中町、西府村、多磨村、これが合ぺいしてたん生しまし

た。人口は約５万人でのスタートです。以来、市民や市議会のみな様を初め、多くの方々のご努力により、人口25万人をこえるまちへと成長をとげました。

げんざい、わたくしは市長として市議会議員のみな様とともに府中市のさらなる発てんのために力をつくしていますが、本日は府中市のしょう来をになうみなさんから、さまざまなご質問やご意見をいただきました。その中でみなさんが、府中市のしょう来を見つめて、福し、かんきょう、地いき安全、都市整び、観光など市せいのさまざまな分野にわたりましてするどいし点で堂々と、しかも礼ぎ正しく質問している様子や、議事進行を円かつに行っているすがたを見て、大変たのもしく感じるとともに、感げきをいたしました。

また、ただいま、府中市がみんなで創る、笑顔あふれる、住みよいまちとなることを目指す決議が議決されました。みなさんの決議をお聞きして、わたくしは多くの市民のみな様が、このまちでくらすことをほこりに思い、おたがいをそん重して協働し、歴史と伝とうを大切にすることで、この府中市が笑顔あふれるまちとして発てんしていくであろうことをかく信いたしました。

どうか、府中市子ども市議会議員のみな様には、本日のき重なけい験をきっかけとして、さらに府中市にきょう味を持っていただき、自分のまちが笑顔あふれる住みよいまちになるよう、みずから行動していただくとともに、かがやかしい未来に向かって大きく羽ばたいていくことを、いつまでも願っています。

最後になりますが、子ども市議会の開さいにごじん力をいただきました市議会を初めほご者のみな様、学校のしょ先生方など、ご関係みな様に心よりお礼を申し上げまして、こうひょうのあいさつといたします。本日はありがとうございました。（はく手）

○副議長（西本　葵市議会議員）　高野市長、ありがとうございました。

次に、奈良﨑久和かんさ委員からへい会のごあいさつをお願いします。

○奈良﨑久和議会選出かんさ委員　本日は暑い中、子ども市議会議員のみな様には大変におつかれさまでした。府中市の議会選出でかんさ委員をさせていただいております、奈良﨑久和でございます。浅岡議長さん、西本副議長さんを初め、本日の本会議一ぱん質問、本当に立ぱで、わたしも市長同様に心強く感じたところでございます。みなさん方が本当に府中のしょう来、10年後、20年後、30年後を背負っていく方々だと思いますが、わたしたち市議会議員も市民のみなさんから負たくをいただいて、議員をさせていただいています。みなさんの姿にふれて、わたしたちもこころざしを持って、原点に返ってしっかりとまたがんばっていきたいと思っております。

また、この子ども市議会の開さいに当たってご協力をいただいた高野市長、吉野副市長、また浅沼教育長を初めとして関係者のみなさん、そして校長先生を初め学校関係者のみなさん、そして何より送り出していただいたほご者のみな様に、この場をおかりして心から感しゃを申し上げます。本当にありがとうございました。

これからの子ども市議会議員のみなさんのますますの活やくと、そしてこれからの大成長を期待しまして、以上をもって市せいし行60周年記念府中市子ども市議会をへい会とさせていただきます。本日は大変にありがとうございました。（はく手）

○副議長（西本　葵市議会議員）　ありがとうございました。府中市議会議員のみなさんには、おいそがしい中、ご出席いただき、丁ねいにご答べんくださいまして、まことにありがとうございました。子ども議員を代表してお礼申し上げます。

以上で、府中市子ども市議会をへい会いたします。（はく手）

○赤野秀二議会運営副委員長　以上で子ども市議会をへい会します。

午後４時15分　へい議・へい会